

第十二回 貴族院民法中修正案外二件特別委員會速記録第三號

明治三十一年六月七日午前九時十八分開會

○委員長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ開會致シマス

○子爵曾我祐準君 此婚姻ノドノ條項デスカ知リマセヌガ婚姻ノ年ニ制限ガアリマスガ若シ其年ノ制限前ニ婚姻セタノハドウ云フ風ニナリマスカ、ツレハ無効ト認メルダケデ罰ト云フモノハ別ニナイノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 無論罰ト云フコトハアリマセヌ、又當然無効ト云フコトモアリマセヌガ矢張取消ヲ請フヘキコトトナツテ居リマス、取消ヲ請ハヌケレバ無効ニハナラヌ、取消ヲ請フコトハ各當事者ノ戸主親族又ハ檢事カラ請求ガ出來ルコトニナツテ居ル即チ第七百八十條ニ明文ガアリマス

○子爵曾我祐準君 サウスルト若シ年ガ極メテアルト其年ノ前ニ婚姻ヲシタノハドウナルノデス、別ニ制裁モナケレバ婚姻ヲ止メサセルコトモナクテツレヲ繼續シテ往クダケデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 制裁ハ唯ミ取消サレルダケデゴザイマス、取消スマデハ矢張其儘ニナツテ居ル而シテ其年齡ト云フモノハ段々大クナツテ参リマシテ適齡ニ達シマスルト第七百八十一條ノ規定ニ據リマシテ取消ノ請求ト云フモノガ出來ヌノガ本則デ唯不適齡ニテ婚姻ヲ爲シタル者ダケハ三箇月間ニ取消スコトヲ請求スルコトガ出來マス

○子爵曾我祐準君 サウスルト制限ガ立テ、アリマスノミデ餘リ效力ガナイヤウデアリマス、何歳以上デナクテハナラヌト極メテモ……

○政府委員(梅謙次郎君) イヤツレハ夫婦ノ一方又ハドチラカノ戸主親族檢事カラデモ皆取消ノ請求ガ出來マスカラ無効トナツテ仕舞ヒマス

○子爵曾我祐準君 サウスルト此緣談ヲ引離スコトガ出來マスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ツレハ請求サヘアレバ引離スコトガ出來マス

○男爵小澤武雄君 其年齡前ニ子供ガ出來ルトツレハドウナリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 子供ガ出來マシタ場合ハ此子ハ固ヨリ夫婦ノ子デゴザイマス、其取消ハ既往ニ遡ラヌト云フコトニナツテ居リマスカラ其子ハ嫡子デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 私生トハ言ハレムノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ハイ

○子爵曾我祐準君 併ナガラ不合法デ出來タ子デモ當リ前ノ子ト見ルノデゴザイマス、規則ノ禁ズル所ノ人ガ出來タコトハ……

○政府委員(梅謙次郎君) 誠ニ御尤デゴザイマス、法律ノ規定ニ觸レマスルト其婚姻ハ無効トナルモノデゴザイマス、又或ハ取消スコトヲ許スモノモアリ、或ハ唯損害賠償等ノ制裁ノミデ他ニ特別ニ制裁ノナイモノモアリマス、婚姻ニ就キマシテハ色々協議ヲ致シ外國ナドニモ學者ガ色々研究ヲ致シテ居

貴族院民法中修正案外二件特別委員會速記録第三號

明治三十一年六月七日

ルコトデアアルガ何分自然ノ愛情ニ依テ夫婦ト爲ツテ居ルノミナラズ其間ニ子供ガ出來ルコトガアレバ何モ知ラナイ子供ガ迷惑ヲスルコトガアルカラツレデ多クノ場合ニ於テハ當然無効トスルト云フコトニセズ、取消ヲ待ツテ初メテ無効トスルト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス、今ノ箇條ノ如キハ矢張其

中ニアリマスルノ殊ニ年齡ノ足リナイヤウナ者ハ他ノ條件ヨリハ情ノ輕イコトデアリマスカラソレデ取消スマデニシテ出來マシタ子ハ無論嫡出子トスル、併ナガラ取消ハ今申レマシタ何人カラデモ出來ルヤウニナツテ居ルカラソレデ漫リニ不適齡ノ者ガ婚姻ヲ爲スト云フコトガ出來ナカラウト思ヒマス

○名村泰藏君 此場合ニ於テ一體年ガ兩方トモ不適齡デアリマスカラ戸籍官吏ガ承諾スル譯ガナイト思ヒマスガ若シ此場合ニ於テ戸籍吏ガ戸籍帳ニ登記シテ居ッタトキニハドシナ制裁ニナリマス、戸籍官吏ノ制裁ヲ承リタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ戸籍吏ガ無論誤ッテ其届書ヲ受理シタル場合カ或ハ又甚シキハ戸籍吏ガ共謀シテ斯様ナルコトヲ致サヌケレバ到底出來ヌコトデアリマス、減多ニ實ハサウ云フ場合ハ生ジナイノデアリマス、若シ唯今申上ゲマシタヤウナ全クノ間違トカ或ハ通謀等ノ結果デ後カラ取消サルルヤウナ場合デアリマスレバ無論戸籍吏ハ戸籍吏トシテ普通ノ官吏ノ負フダケノ責任ヲ負ハナケレバナラヌコトト考ヘマス、尤モ惡意ヲ以テ通謀シタ杯ト云フ場合デアリマスレバ刑法ニマデ觸ル、コトモアラウカト存ジマス

○加藤弘之君 此所デ婚姻ノ年齡ハ極ツテ居ルツレカラ其前ニハ無効ニナル即チ取消ガ出來ルト云フコトデアリマス、サウシテ見ルト實際ノ婚姻ト云フモノニ制裁ヲ置クト云フコトガ出來ヌカラ矢張澤山違ヒハシナイト思ヒマスガ……

○政府委員(梅謙次郎君) 極端ヲ言フトサウ云フモノデアアラウカト思ウテ居リマス、今日デハ法律ノ上デ何歳以上デナケレバ婚姻ヲスルコトガ出來ヌトナツテ居リマスカラ随分立派ナ身分ノ者デ都合ニ依テ早ク婚姻ヲシタト云フモアルヤフデアリマス、法律デ斯様ニ極ツテ居レバ法律ノ年齡ニ達シナイ中ニ婚姻ヲスルト云フコトハアリマス、又格別身分ノナイ者デモ斯様ニ極ツテ居レバ能ク能クノ事デナケレバ之ヲ犯スコトハナカラウト思ヒマス、情ニ迫ッテ必要トスルト云フコトガ決シテ無イトハ申サレマセヌガサウ云フコトハ此規定ガアルト實際ニ於テ今マデト同ジコトデアアラウトハ思ハレナカッタデアリマス

○加藤弘之君 中等以上ノ人ニナツタラ私ハ違ヒハナカラウト思ヒマス、斯レスレノ廉デスナ……中等位カラ上ハ……

○政府委員(梅謙次郎君) 届出サヘモセヌ者ハドウモ……

○加藤弘之君 是ハ十七ト十五トアルノデスガ實際ノ所ハ私通ハ別ノ話デ婚

姻ノ式モ何モスルノデハナクサウ云フコトヲヤルノハ此年齡ヨリ下ノ者ニハサウ澤山ナイト云フ御考デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デゴザイマス、矢張下等社會ニ致シマシテモ今日デハ段々婚姻年齡ハ昔ヨリハ遅クナッテ來ルノデ此年齡ヨリ下ノ者ハ比較的ニ少イト認メマシタノデゴザイマス

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデハ第二節第七百八十八條カラ八百七條マデ……

○子爵曾我祐準君 七百九十二條ニ「夫婦間ニ於テ契約ヲ爲シタルトキハ其契約ハ婚姻中何時ニテモ夫婦ノ一方ヨリ之ヲ取消スコトヲ得但第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス」是ハ私共ニハ能ク分リマセヌガ斯ウ云フコトノ必要ガアリマスカ、夫婦ノ中デ約束シテ置イテサウシテソレヲ取消スコトガ宜イカ惡イカト云フコトハ法典ニ斯ウ云フコトヲ書イテ置ク必要ハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ其夫婦間ノ愛情ハ先ヅ最モ盛ナルモノデゴザイマス、ソレデ其或ハ夫ノ方ガ少シ惡イ人デアリマスト妻ガ財産ヲ持ッテ居ル場合ニ、機嫌ノ善イ時ニ乘ジテ種々自己利益ノ契約ヲ結デ、又反對ニ妻ノ方ガ人ガ惡イト夫ノ機嫌ノ善イ時ニ乘ジテ種々自己利益ノアル契約ヲ結デ、自由ノ契約トハ言ヒナガラ全ク自由デナイ、情ニ迫ラレテ半分夢中ニナッテ居ル時デアル、ソレデサウ云フコトハ皆他人間ノ契約ト同様ニ爲スコトガアリマス、此場合ニハ却テ夫婦ノ愛情ヲ傷ケ動モスルト子供マデ害スルヤウナコトガアリマスカラソレデ夫婦間デハ法律ニ依ッテ裁判所マテ訴ヘラレルヤウナ契約ハ出來ヌモノダ、是ハ互ヒニ一旦約束シタモノダカラソレダケヤラウト云フ考ノ續イテ居リマス間ダケバ契約ノ効力ヲ持ツケレドモ意思ガ變レバモウ此契約ハ効ハ無イモノトシテ取消スコトガ出來ルトシタ方ガ夫婦ノ情ニ適スルデアラウト云フ考デ本文ヲ掲ゲタデアリマス、併ナガラソレモ第三者ノ權利マデニ影響ヲ及ボスコトハナイノデアリマス

○久保田讓君 今曾我君ノ御問ノ前ニ七百九十條「夫婦ハ互ニ扶養ヲ爲ス義務ヲ負フ」ト云フコトガアリマス、是ハ我等ハモウ一層必要ハナイト思フノデアリマスガドウ云フ必要ガアルカ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハマア法律ヲ立デテ見マスルト云フト夫婦ガ各、財産ヲ所有スルモノト云フコトニナル、ソコデ其一方ガ財産ガナクシテ他ノ一方ガ財産ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ場合ニ隨分先刻申上ゲタ例ノ正反對デ名ハ夫婦デアリナガラ誠ニ(聽取難シ)サウ云フコトニナッテ見ルト例ハ私共ノ存ジテ居ルコトデ幾ラモアリマスガ夫ハ榮耀榮華ヲシテ居リナガラ其妻ト云フ者ハ乞食同様ノ生活ヲシテ居ル、甚シキニ至テハ人ニ貰ッテ食ベテ居ルト云フヤウナモノガアリマス、倒サマノ方モナイデハアリマセヌガマア其方ハ少ナイノデアリマス、サウ云フコトガアリマシタ時ニ夫婦間ノコトデアリマスカラ法律上ノ權利義務ト云フコトハ成ルベク言ヒタクナイガソ

レ程甚シキ場合ハ法律ニ訴ヘテモ妻ハ夫ニ養ハシムルト云フコトガ出來ル、ソレト同ジヤウニ倒サマガ生ジタラバ夫ハ妻ニ扶養セシムルコトガ出來ルト云フコトニナリマセヌト始末ガ付キマセヌ、ドウモ法律ヲ掙ヘル以上ハ是ダケノコトハナイトイカヌカト思ヒマス、殊ニ扶養ノ義務ニ關シテ一般ノ規定ガアルト言ヒマスガ一般ノ規定ト云フモノハ夫婦間ノ關係ト云フモノ、釣合ガ極リマセヌト云フト實際ムヅカシイ問題ガ起ッテ來ヤウト思ヒマスノデ、ソレデ後ニ九百五十五條及九百五十七條デ……九百五十五條及九百五十七條デ扶養ヲ爲スノ義務ノ順序ヲ極メデアリマス、前ニ一旦斯ウ云フ規定ガアリマセヌト先ニ又九百五十五條九百五十七條ノ如キ規定ヲ置クコトモ出來マセヌノデ從ッテ此扶養ノ義務ノ規定ト云フモノハ判然シナイコトニナリマスカラ已ムヲ得ズ是ダケ……

○久保田讓君 御説明デ分リマシタガ併シ今例ニ御舉ゲニナッタヤウナ例デ一方ハ榮耀ヲシテ居ッテ他ノ者ハ構ハヌト云フヤウナコトハ成程偶々アルカ知ラヌガソレハマア實ニ極ク例外デ千人ニ一人アルカ萬人ニ一人アルカ誠ニ少ナイ、日本人ノ夫婦ノ間ノ關係ト云フモノハサウ云フモノデハアルマイカ、一般ニサウ云フ習慣風俗ハアルマイカト思ッテ居リマスガ私等ハ斯ウ云フ箇條ガ出タノデ實ハドウ云フ必要デアルカ何ト云フカ殆ド驚ク外ナイ、恐ラク一般ノ人モ此法律ヲ見テ夫婦ト云フモノハ斯ナモノデアラウカト始メテ此法律ヲ見テ眼ガ覺メテ惡イ方ノ風俗習慣ニ是デ導クヤウニナリハシナイカ、其邊ハドウデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ或ハサウ云フ見込違ヒガアルトモ知レマセヌガ吾々ノ方ノ考ヘマシタ所デハ法文ニ斯様ナ規定ガ出タメニ夫婦ノ間ニ於テ道義倫理ニ悖ルヤウナコトハナカラウモトモト夫婦ノ中一方ガ人倫ヲモ十分ニ辨ヘナイ、或ハ不屈ノ人間デアルト云フヤウナモノデアレバ法律ノ明文ガナクシテモ、無ケレバ無イ程憂ガ少ナクシテモ先刻申上ゲタヤウナコトガアルノデ、ソレデ法文ニ斯ウ云フコトガアレバ猶更德義ヲ重ンズル者ハ益々重ンズルト云フコトガアリハセヌカト考ヘマス

○名村泰藏君 此第三節、夫婦ガ財産ノ契約ヲスル、今日マデノ習慣デ來テ居ル所ハ妻ニ財産ヲ持ッテ居ルト云フモノハ至ッテ少ナイ、或ハマア無イト言ッテ宜イ位ナモノデアリマス、又或家ナドデハ財産ノアル者ハ女房ニシテハ甚ダ不都合ダ成ルタケ女房ハ財産ガ無イ方ガ宜イト云フ風ニ今日ノ習慣ハナッテ居ルト思ヒマス、此法律ガ出來テ後ハ從前夫婦ニナッテ居ル者ノ財産方法ト云フモノハ如何ニナリマスカ、何カアツタカ存ジマセヌガマダ能ク讀デハ居リマセヌカラ……此世上實際二十年カ四十年前ニ婚姻レテ居ル者ガ澤山アリマセウガ其者ハ之ニ據ッテ財產契約ヲシナケレバナラヌモノデアリマセウカ、其邊ヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 御問ノコトハ能ク了解シマシタガ此夫婦ノ財産ノコトニ付キマシテモ色々詮議ヲ凝シタコトデ、成程今日ノ有様ハ仰セノ通

リ妻ニシテ財産ヲ持ツテ居ル者ハ少ナシ、又武士氣質デハ財産ノアル妻ヲ貴
フコトハ却テ潔シトセヌコトデ、御互ヒニ一己ノ考カライタシマヌレバ
至極御同感ノコトデアリマスガ併シドウモ今日ト雖モ隨分此農工商ノ社會ニ
於テハ財產家ハ自家ノ娘ヲ他ヘ片付ケル場合ニハ多クハ財產ノ一部分ヲ割イ
テ與ヘルト云フコトニナツテ居リマス、今後生活ガ益々困難ナルニ至リマシ
テハ勢ヒサウ云フコトニナラウト思フ、マダ今日マデノ所ハ大概ノ者ハ自分
ノ腕一本デ夫婦位ノ生活ハ容易ク出來マスケレドモ段々生活ガ困難ニナツテ
參リマスルト中々モツテ腕一本デハ容易ク生活ハ出來ナイ、況ンヤ妻子マデ
養フテ行クコトハ出來マセヌ、サウナツテ來ルト妻ガ財產ヲ持ツテ居ルト
云フコトハ今日ヨリハズツト多クナツテ來ルデアラウト思ヒマス、其場合ニ
財產ノ有様ハドウナルカト云フコトハ困リマスカラ實ハ此點ハ舊民法ト大
體ニ於テヒドク變ハルコトハナイ舊民法ハ日本ノ慣習ト看テ此點ハ規定シテ
アルト思ヒマス、而シテ今日現ニ存シテ居ル婚姻ハ如何ト云フコトニ就テハ
是ハ施行法ニ規定ガアリマスルノ施行法ノ第六十九條デアリマス、此第六
十九條ニ「民法施行前ニ婚姻ヲ爲シタル者カ夫婦ノ財產ニ付キ別段ノ契約ヲ
爲ササリシトキハ其財產關係ハ民法施行ノ日ヨリ法定財產制ニ依ル」トアリ
マシテ、ソレデ詰リ此規定ニ依テ見マスルト今日マデノ夫婦ノ財產ノ有様ト
云フモノモ民法ハ出來マシタカラ俄ニ變更スルモノデハナイ從來ノ關係ハ其
儘ニシテ置クノデゴザイマス、併ナガラ別段ノ契約ノナカッタモノデアリマス
ルト云フト他ニ致方ガナイデアリマスカラシテ民法施行ノ日カラ即チ民法ノ
言フ所ノ法定財產制ニ依ルト斯ウ云フコトニ致シマシタ、而シテ此法定財產
制ハ今日ノ實際ニ最モ近イト我々認メマシタノデアアル、ソレカラ尙此民法ノ
方デハ夫婦ノ財產ニ關スル契約ハ婚姻ノ前ニシナケレバナラヌ前刻申上ゲマ
シタ如ク夫婦ニナツテカラ後ハ契約ト云フモノガナイ、愛情等ノ爲ニ十分ナ
理由ヲ以テ之ヲ結ブコトヲ得マセヌカラソレデ婚姻ノ前ニシナケレバナラヌ
トナツテ居リマスカラ併シ舊來ノ夫婦ノ間ニ於テハサウ云フ制限ガナイカラ
民法施行マデニ爲シタ契約デアレバ何時結ンダ契約デモ宜シイト云フコトニ
ナツテ居リマスカラ其邊ハ自由ニナツテ居ル積リデアリマス詰リ民法施行後
法定財產制ニ依ルコトガイヤナ者ハ施行ノ前ニドシナ契約ヲ結ンデモ宜シイ
ト云フコトニナリマス

○子爵曾我祐準君 今ノ御説明デ自ラ分リマシタガ七百九十六條ノ「夫婦ノ
財產關係ハ婚姻届出ノ後ハ之ヲ變更スルコトヲ得ズ」トアリマスガ夫婦ノ財
產關係ノ約束ヲシヤウト云フ條ガトツカニ在リマス、チヨット私ニハ分リマ
セヌガ是ハドウ云フ風ニナルデアリマス、日本ノ婚姻ニハ餘リナイカラ餘
リナイコトデアアルカラ私ニハ分リマセヌガ許嫁ヲシテ其上ニ何萬何千圓ト云
フ金ヲ持ツテ來ル契約ヲスルト云フコトハ西洋ニハアル趣ヲ聞イテ居ルガ日
本ニハ私共ノ知ッ者ニハ一人モアリマセヌガドンナ風ニスルト云フノデア
リマス

○政府委員(梅謙次郎君) 外國ニハ夫婦ノ財產契約ガ非常ニムツカシイコト
ニナツテ居ルガ日本ニハ一切サウ云フコトハアリマセヌカラ今度ノ民法ニハ
採用致シマセヌ、婚姻届出マデハドンナ方法デ契約ヲシテ何時契約ヲシテ宜
シイト云フコトニシマシタガ實際ハ今日先刻申上マシタ通ニ金満家ノ商賈ノ
間ニハ多ク能ク行ハレマスル如ク大抵結納ヲ取換セマスルト云フ際ニ或ハソ
レカラ程ナク式ヲ舉ゲルマデノ間ニ其契約ト云フモノガ整フト云フコトニナ
ルデアラウト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 尙御尋致シマスガ其契約ト云フモノハ如何ナル式ヲ以テ
スルト云フコトハナイデアリマセウカ、詰リ契約ノ要點ガ具備シテ居ラヌケ
レバ何モナラヌデアリマセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 契約ノ要素ハ民法ニハ至ッテ簡約ニナツテ居リマ
シテ唯雙方ノ同意ガアリ、サウシテヤラウ貴ラウト云フコトガ極ッテ居リサ
ヘスレバソレデ宜シイノデ口頭デモ宜イ書面デモ宜シイ唯登記ヲシテ置キマ
セヌト第三者ニ對抗ガ出來マセヌカラ、ソレデ第三者ニ對抗シヤウト思ヘバ
登記ノ申請ト云フ書面ヲ出サナケレバナラヌ、ソレマデノ所ハ契約ハ如何様
ニ結ンデモ宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 サウスレバ女ガ物ヲ夫ノ所ニ持ツテ來マスレバ共同ノ財
產ニスルト云フヤウナ契約ヲスルモノカ又ハ化粧料ト云フヤウナモノデ夫ニ
ヤッデ仕舞フノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 夫ニヤッデ仕舞ヒマスレバ夫婦ノ財產ニナラヌ、
夫ノ財產トナツテ仕舞フノモ茲ノ問題トハナリマセヌ茲ノ問題トナリマスノ
ハ默ッテ居ルト例ヘハ親ガ娘ニ幾ラカノ財產ヲ付ケテヤル烟ヲ付ケテヤルト
カ田ヲ付ケテヤルトカ公債證書ヲ付ケテヤル其財產ヲ夫ノ所有ト爲サズシ
テ妻ノ所有デアルトキハ法定財產制ニハ籍マラヌノデアリマス、ソコデ特別
ノ契約ヲ結ブト申シマスルノハドンナ契約デモ指ヒマセヌケレドモ例ヘハ仰
セノ如ク共通ニスルト云フ契約ヲ結ンデモ差支ナイ實ハ日本ニ生レテ日本ニ
生活シテ居ル人ノ間デハ態々夫婦財產契約ナドヲ結ブ者ハ極メテ稀デアラウ
ト思ヒマスガ是カラ段々生活ガ困難ニナリ且ハ多少外國ノ風俗ガ這入ッテ來
ルト勢ヒ免レヌコトデアアル、サウナツテ來レバ種々ノ契約ヲ結ブ者モ出來テ來
ヤウト思ヒマス、無論人々ノ考次第結ブ契約デアアルカラ豫メドンナ契約ヲ
結ブト云フコトハ想像スルコトハ出來マセヌ、先ツ外國ノ例ヲ申上ゲルト重
モナルモノハ財產ヲ共通ニスルトカモツト甚シイノハ夫婦ノ財產ヲ別ニシ
テ妻ノ財產ハ妻ガ管理スルト云フ様ナモノガ多イノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 然ラバ届出後ハ變更スルコトハ出來ヌト云フノハドウ云
フ意味デアリセウカ、妻ノ夫ニ妻ノ親ガ何カ財產ヲ増シテヤラウト云フコト
ハ變更デハナイノデスカ、嫁ヤル前ニ一萬圓付ケテ居ッテモ更ニ後デ一萬
圓ヲヤルト云フコトハ變更デハナイノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ財產關係ノ變更デハナイ其財產ハ前ノ財產

ト同ジヤウニ夫ガ管理ヲスルトカ管理ヲサセヌト云フコトハ變更デハナ
イ、變更ト申シマスルモノハ初メニ法定財產制デ婚姻シテ者ガ後カラ夫婦ノ
財產ヲ共通ニシヤウトカ或ハ夫婦ノ財產ヲ皆別ニ別ケテ妻ハ妻ノ財產ヲ自
ラ管理シヤウト云フコトニスルトカ若クハ反對ニシヤウト初メ共通ニシタモ
ノ後カラ分ケヤウト云フコトガナイトナリマセヌ、財產ヲ殖ヤスト云フコ
トハ差支マセヌ

○子爵曾我祐準君 初メ歐羅巴ノ例ノ如ク妻ノ親カ壹萬圓ナラ壹萬圓ヲ分ケ
テヤルケレドモ向フノ心ガ分ラヌカラ先ツ娘ノ物ニシテ置カウト云フコトニ
シテ一年ナリ二年ナリ經テ所デ誠ニ其イ婿ダアレナラバモット財產ヲ與ヘ
テ娘ニ管理サシテ置クヨリモ婿ニヤッタ方ガ多ク安心デアル、又娘ノ爲ニモ
ナルダラウト云フコトハ實際出來テ來ル問題ダラウト思ヒマスガソレモ出來
ヌノデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 成程仰セノヤウナコトモアリハ致シマセウト思ヒ
マスケレドモ大體ニ於テ始ハ別ニ所有シテ居リマシテ共通スルト云フコト
ハ認メマセヌノデアリマス、但シ初メ少シ財產ヲヤツテ置イテ試ミテソレデ
其レバアトカラ餘計財產ヲヤルト云フコトハ差支アリマセヌケレドモ併ナ
ガラ先ツ一旦妻ノ名義トシテ置イタモノヲ今度夫ニ遺ルト云フコトハ差支ハ
アリマセヌ、唯夫婦間ノ契約ハ先刻申シマス通り夫トノ契約ハ取消スコト
ガ出來ルケレドモ第三者ノ權利ニ差支ガアツテハイケマセヌカラサウ云變更
ハ無論出來マセヌ、仰ノ如キ例ハ財產ヲ別々ニシテ置イテアトカラ共通シヤ
ウト云フ譯ニ參リマセヌ

○男爵小澤武雄君 其變更ヲスルトドウ云フ害ガアル、ト云フコトヲモウ少
シ承リタイ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ先刻申上ゲル通り此夫婦ノ情ト云フモノ
ハ先ツ厚カルベク又多クノ場合ニ於テ婚姻ノ法ニ於テ……ソレデアリマスガ
ラ夫ガ惡イ人デアルト先ツ妻ヘ對シテ自分ニ利益ノアルヤウナ風ニ初カラ契
約ヲ變ヘサセル、マア日本デモ財產ヲ分ケテ遺ル遺ラヌト云フ場合ハ同ジコ
トデアラウト思ヒマスガ西洋ナドデモサウデスガ此初メ契約ヲ結ブ時ニ實ハ
富ハノ心ニテ結ブト云フコトハ少ナイ、親ノ意思デ結ブ、ソレデアリマスガ
ラ親ハ先ツ以テアノ男ハ善イ人デアルケレドモドウモ少シ金遣ヒガ荒イカラ
財產ヲ自由ニサセテハイカヌト云ツテ種々制限ヲ設ケテ置キマシテモ妻ハ其
夫ニ十分ノ愛情ガアルト夫婦トナツテ後夫カラ頻リニ説カレルト氣ノ毒
ニナツテツイ自分ノ財產ヲ共通トカ何ト云フ名義ニシテ夫ノ自由自在ニナ
ルヤウニシテ仕舞フノハアリ得ルコトデ、又倒サマニ妻ノ惡イ場合ニ於テハ
夫ガ其通りノコトニナル恐レガアル、デアリマスカラ夫婦ニナツテカラト云フ
モノハ今ノ財產ノ關係ヲマルデ變更スルト云フヤウナ詰リ裁判上ニ於テハ此
上モナク危險ナコトハ許サヌ、ソレデアリマスガ財產ヲ遺ルコトガ出來ル、出來ル
ニシテモソレハ先刻申上ゲル通りアトカラ取消スコトガ出來ルガ第三者ノ權

利ヲ害セザル時ハ其方ノ取消ハ出來ルト云フ位ノコトデアリマス、詰リ夫婦
間ノ契約ハ多クハ自由デナイモノデアリマス

○子爵曾我祐準君 シテ見ルト先刻カラ御説ヲ承リマス夫婦ハ婚姻シタ
初メハ睦シウシテ後ハ冷淡ニナルヤウニ法律ノ眼ノ珠デハ見エル、或ハ初メ
ハ睦シイモノデアレバ十年二十年ノ後マデモ艱苦ヲ共ニシタナラバ縱令不
分ナ女房デモ愛情ハ睦シクナツテ來テ御互ヒニ勸忍シテソレデ一家ガ纏ルト
思ヒマス、然ルニ法律ノ眼ノ珠デ見ルト段々後様ハ夫婦ノ間ガ非常ニ惡クナ
ルト云フヤウナコトヲ明カニ認ムルヤウデアリマスガドンナモノデアリマス
カ

○政府委員(梅謙次郎君) 決シテサウ云フコトハアリマセヌ、私ハ世ノ中ノ
多クノ場合ニ付テ例トシテ申上ゲタノデ、夫婦ハ長クナルト親シクナル、サウ
云フコトハ結構ナコトデ、併ナガラ法律ハ其イ家族ノコトバカリ見デ規定ス
ル譯ニナリマセヌ、實ハ其イ家族ニ付テハ法律ノ規定ハ要リマセヌ、法律ノ
規定ノ要ル場合ハ寧ロ其イ家族ニ要ルノデアリマス、ソレデ其イシクナイ
場合ヲ申シマス初メカラ愛情ノ無イ夫婦ガアリ、初メハ愛情ガアツテ後ニ
愛情ガナクナル、甚シキニ至ツテハ相反目スル者ガアル、サウ云フ場合ヲ豫
想シテ法律ヲ設ケマセヌト云フ法律ヲ設ケテ置キマシテモ其イ夫婦ノ場合
ハ要ラナイノデ、惡イ夫婦ノ取締ニナラヌト云フ結果ニ至リマスカラ已ムコ
トヲ得ズ惡イ場合ヲ豫想スルノガ必要ト認メマス

○子爵曾我祐準君 日本デハ隨分離婚ト云フコトガ多イ、日本デハ離婚ト云
フコトハ歐羅巴ヨリモ自由ニ出來ル、歐羅巴ノ方ハ離婚ガムヅカシイ、此間
政府委員モ御説明ガアツタガソコラハ日本ノヤウニ離婚ノ自由ナ所ト離婚ノ
ムヅカシイ國トハ多少斟酌ガサレテアルベキデアルガサウデハナイデアリマ
スカ、先達テ國籍法ノ時分ニモ歐羅巴デハ法律上宗教上修身離婚ガ出來ヌト
云フコトノ御説明ガアツタヤウニ思ヒマスガ、日本ハ離婚ガ多イト云フコト
ヲ此間政府委員モ實例ヲ擧ゲテ御示シナリマシタガ日本ノヤウナ離婚ノ自
由ニ出來ルノハ其イコトカ惡イコトカ知ラヌガアナタ方モ仰ツシヤル通り親
愛ヲ失ツテ來タ時ハ日本ハ離婚ヲスルカラ其邊ノ御心配ハ西洋ヨリハ日本ニ
ハ少ナイト思ヒマスガドンナモノデゴザイマスガ

○政府委員(梅謙次郎君) 今日離婚ガ餘リ容易ク出來ルト云フコトハ是ハ寧
ロ弊害ト見マシテ今度ノ法律デハ、舊トノ民法モ同ジコトデアリマスガ離婚
ニ制限ヲ設ケマスノデ餘リ容易ク出來マセヌノデゴザイマス、又些細ナ理由
カラ離婚ヲスルト云フヤウナコトハ望マシクナイノデ假リニ夫婦ノ愛情ガナ
クナルト致シマシテモ子供ノアル場合ハ其夫婦ハ矢張依然ト夫婦デ居ルト、
離婚ヲ致シテ繼母ガ參ル、繼親ノ許ニ育ツト云フヨリハ概シテ利益ガアリマ
スソレ等ノ理由カラ離婚ハ容易ク許サヌト云フ趣意デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 離婚ハ容易ク出來ヌト仰セラレルガ夫婦ノ間兩方ガイヤ
ニナレバ……

○政府委員(梅謙次郎君) イヤニナレバ兩方協議ノ上ナラ出來マス
○子爵曾我祐準君 協議ガ一番多ウゴザイマセウ、縱令ドウ云フ法ヲ設ケテモ兩方納得ツクナラ離婚ガ出來ル、兩方ガイヤニナツテ離婚ガ出來ルノガ一番多イ、一方ガ慕フ心ガアッタナラ夫婦ノ縁ハ切レルモノデナイ、シテ見ルト離婚ヲ豫防ナサルト云フコトハ實際効力ガ少ナイト思ヒマスカラ先ニ言ツタ理由ト撞着シテ居ルト思ヒマスガ……

○加藤弘之君 曾我サンノ御説ハ詳シク分ラヌガツレドウシタラ宜カラウト云フノデスカ、ツレダカラハイカヌト云フノデスカ

○子爵曾我祐準君 ツレハ斯ウ云フ必要ハ日本ニハ少ナカラウト、斯ウ云フノデス

○加藤弘之君 變更スルコトヲ得スト云フ必要ハナイト云フノデスカ

○子爵曾我祐準君 サウデス

○加藤弘之君 却テ變更スルコトヲ許シタ方ガ宜カラウ、協議デ離婚シテ仕舞ヘバ素ヨリ夫婦デナイ……

○子爵曾我祐準君 ツレハ別論デス、總テ夫婦ノ間ヲ大變法律ガ縛ルヤウナコトガ多イデスナ、ツレデ向フデハ離婚ガ大變ムツカシイカラサウ云フ事ガ餘計設ケテアラウガ日本デハ離婚ガ自由デアルモノダカラ兩方ニ愛憎ガ盡キタ時ハバラバラ別レルト云フコトハ日本デハアルカラ仲ガ悪クナツテモ成ルタケ夫婦ニシテ置カウト云ウ趣意ニ見エマスルガ、日本デハソレガ自由デア

ルカラサウ云フ必要ガ左程ナイカラ法律デ左程マデニスルニハ及バヌ

○加藤弘之君 變更スルコトヲ許シタ方ガ却テ宜カラウ……

○委員長(侯爵黒田長成君) 八百八條カラ九百十九條マデ……

○名村泰藏君 今日マデ裁判所ヘ訴ヘテ離婚ヲ求メタル統計ガ分ツテ居リマ

スナラチヨット……

○政府委員(梅謙次郎君) 裁判所ヘ訴ヘマシタ離婚ノ數ハ分リマセヌ、裁判所ノ統計ト云フモノハ至ツテ不十分デアリマスカラ分リ兼ネマス

○名村泰藏君 併シ裁判所ニ訴ヘテ離婚ヲ求メタル理由トシテ認メタルコトヤ何カモ御參考ノ爲ニ御調ニナツタコトデアラウト思フガ其邊ハ如何デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 調ベハ致シマシタケレドモ統計ハ持つテ居ラナ

カッタノデアリマス、尙ホ司法省アタリデ調ベタモノガアリマスカモ知レマセヌカラ念ノ爲ニ調ベマシテ、アリマスレバ後刻申上ケルコトニ……

○子爵曾我祐準君 第八百十三條第四號ニハ衆議院ノ修正ガアリマスガ是ニハ政府ハ御同意ニナツタノデアリマスガ

○政府委員(梅謙次郎君) 實ハ法典調査會デモ斯ノ如ク書イタ方ガ宜クハナイカト云フ説モ出マシタ、其説ハ潰レマシテ政府ノ意向ハ原案ノ方ガ宜シイト申上ゲナケレバナリマセヌガ併シ斯様ニ改メテモ敢テ差支ナカラウト思ヒマスカラ此點ハ衆議院ノ修正ニ同意ヲ致シマス

○子爵曾我祐準君 同條ノ第六號ニ「配偶者ヨリ惡意ヲ以テ遺棄セラレタルトキ」ト云フノハドウ云フノデアリマセウカ例ヲ舉ゲマスレバ……

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ先刻申上ゲタヤウナノガ一番著シイ例デ例ヘバ田舎妻ヲ置去リニシテ自分ハ他ノ土地デ生活ヲシテ妻ニ養料ヲ送ラヌ音信モセヌト云フノガ多イ例デアリマス

○子爵曾我祐準君 惡意ト云フノハドウ云フノデス

○政府委員(梅謙次郎君) 惡意ト云フノハ妻ガイヤデアルトカ憎クナツタト云フノデ養ヘハ養ヘルモノヲ打遣ツテ置クト云フヤウナモノデゴザイマ

ス

○男爵吉川重吉君 今曾我子爵カラノ御質問ニ八百十三條ノ四號ニ修正ガ出來テ居ル政府ハ此原案ノ通ガ衆議院ノ修正ヨリハ宜シイト思フケレドモ敢テ修正ノ通デモ不同意ハナイト云フ御説明デゴザイマシタガ此原案ノ方ガ宜シイト云フ理由ヲ伺フ譯ニハイキマセヌカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ斯ウ云フ理由デ原案ノ方ガ宜シイト云フノデス、此處ニ列舉致シマシタノハ破廉耻ノ最モ甚シイノデアリマシテ其方カラ申シマスト斯様ニ書イタ方ガ宜イヤウデアリマスルケレドモ併シ細カニ觀察ヲ致シマスルト是ト類似シタ場合ガ澤山アルカラソレヲ一々舉ゲル譯ニモイ

キマセヌ、サウスルトツレニ近イ者ガ出テ來ルヤウデ際限ガアリマセヌカラ甚シイ者ダケヲ拾ヒ上ゲタノデアリマスガ當事者ノ心持ニナツテ見マス

ト茲ニ舉ゲタモノト茲ニ舉ツテハ居リマセヌケレドモ較ノ罪科ヲ犯シタ者ト格別擇ブ所ハナイカモ知レヌト思ヒマシタノデ、ソレカラ今一ツハタトヘドウ云フ妻デモ國法ヲ犯シタ者、牢ニ這入ツタ者殊ニ重禁錮ノ如キ重キ罪ヲ犯シタ者デ、三年モ牢ニ這入ツテ居レバ隨分配偶者ニ取ツテハ其間空闊ヲ

守ツテ居ルコトハ隨分困難ナ譯デアリマスカラ斯様ナル場合ニハ總テ離婚ヲ許シテ宜シイ無論夫婦ノ愛情ノ足ラナイ者ハ三年ハオロカ一年モ經ツト其愛情ハ多ク去ツテ居ルカラソレヲ法律デ無理ニ縛ツテ置ク必要ガナイト云フノ

ガ理由デゴザイマス、併シ改ツテモ敢テ不同意ノナイト申シマスノハ固ヨリ離婚ヲ容易クセヨト云フ精神デハナイデアリマスガ誰ガ見デモ破廉耻デア

ルト云フ罪ヲ犯シタ場合ニハ離婚ヲ許スト云フコトニシタノデ斯様ナ甚シイ者ニ至ツテハ三年マデ待タスルト云フコトハ、可愛サウデアアル、ソレヨリカモ輕イ刑ニ處セラレタノデモ離婚ヲ請求サシテ宜シイ斯ウ云フ理由デアリマス

カラ……

○委員長(侯爵黒田長成君) チヨット御相談致シマスガ今日ノ議事日程ノ第

二ニ御諮詢ノ件ガアリマス是ハ何レ委員ニ付託ニハナラウカト思ヒマスガ格

別ノ事柄デゴザイマスカラ私ハ一己デモ議場ニ出テ其議事ダケハ出席ヲ致シ

タイト思ヒマスカラ是デ一應休憩致サウト思ヒマス

午前十時五分休憩

午前十時四十八分開會

○委員長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ會議ヲ繼續シマス

○子爵曾我祐準君 八百十三條ノ第一項デアリマスガモドコカニアルカ知
レマセヌガ此箇條デハ「配偶者ガ重婚ヲ爲シタルトキ」ト云フコトニナッテ居リ
マスガ重婚ヲ爲シタルトキハ被害トカ何トカ言ッテ訴フルコトガアリマス
○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ婚姻ノ取消ヲ請求スルコトモ出來マスルシ
又刑法ノ制裁モ受ケマス

○子爵曾我祐準君 サウスルト畢竟刑法ノ制裁デ處分シタ上ニ又離婚ノ請求
ヲスルコトガ出來ルノデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デゴザイマス

○子爵松平承君 チョット質問ヲ致シマス、此八百十三條ノ八項ノ所ニ「配
偶者カ自己ノ直系尊屬ニ對シテ虐待ヲ爲シ又ハ之ニ重大ナル侮辱ヲ加ヘタル
トキ」トアリマス、ソコデ此八項ノ直系尊屬ト云フ場合ハ夫婦モ這入ッテ居
リマスガサウスルト此昨日アッタ所ノ何條デシタカ男子ガ三十歳女子ガ二十
五歳サウスルト父母ノ許諾ヲ得ヌデモ結婚ハ出來ルト斯ウ云フコトニナル、
サウスルト結婚ノコトニ就テハ父母ノ關係ハハチツトモナクテ濟ム、斯ウ云フ
コトニナッテ來ルト矢張父母ノ強迫ヲ加ヘタト云フコトガ立派ナ離婚ノ理由
ニナルノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 男ハ三十歳女ハ二十五歳以上ノ者ハ法律上父母ノ
同意ガナク居テ致シマシデモ戸籍吏ハ之ヲ拒ムコトハ出來マセヌノデアリ
マス、併ナガラ其理由ハ昨日略ホ申上ゲマシタ通、決シテ父母ノ同意ヲ得ナ
イノガ宜シイト看タノデハナイ、得ベキコトハ勿論デアルカラ上ノ者ニハ即
チ其同意書ト云フモノヲ持ッテ來ナイデモ戸籍吏ハ其婚姻届ヲ拒ムコトガ出
來ナイ結果ニナル故ニ直系尊屬ニ對シテハ孝道ノ限ガ盡シテ居ルモノト法律
ガ認メタルデアル然ルニ配偶者ガ尊屬タル父母祖父母等ニ對シテ虐待ヲスル
トカ重大ナル侮辱ヲスル行爲ガアレバ其孝心アルベキ子孫ニ取ッテハ見ルニ
堪ヘヌコトデアルカラ離婚ヲ請フノ外ナイト認メタルデアリマス

○名村泰藏君 八百十二條ノ處ニ書イテアル通デハ分リマスデゴザイマスガ
是トチヨット七百二十四條ノ二項ノ場合ニ於テ離婚シテ……二人トモ出タ其
前ニ子ヲ持ッテ居ッタ、其子ノ監督ハ誰ガ致シマスデゴザイマス
○政府委員(梅謙次郎君) 唯今御尋ニナリマシタノハ八百十四條ト承リマシ
タガサウデゴザイマス

○名村泰藏君 イヤ八百十二條ハ我々ニハ能ク分リマスガ七百三十四條ノ二
項ノ場合ニ於テ出ル前ニ子ヲ持ッテ居ッタ其子ノ監督ハ誰ニ歸シマスルカ
○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ協議ニ依リマシテ其場合ニハ斯様ニモ定メル
コトガ出來マス、八百十二條ハ協議ガナカッタトキハ斯ウスルト云フノデア
リマスガ是ハ父母ト母ト離レマスルカラドツチニ付ケタ方ガ宜イト云フ方カラ
問題ガ起リマス、併ナガラ兩人共ニ家ヲ出マシタ場合デアリマスレバ無論ニ

其子ト云フモノハ親ガ親權ヲ行フノデハ此場合ニハナイノデスカサウスル
ト是ハ協議ガ整ヒマセヌカラ養家即チ其出マシタ原トノ家デゴザイマス、第
二項ノ場合デアリマスレバ養家ノ子ト爲サズシテ父ノ實家ノ子ト致シマス、
其場合ニハ父母共ニ居ッテモ、父ガ親權ヲ行フコトニナリマスカラ別段規定ヲ
要シマセヌコトデアリマセウト思ヒマス

○名村泰藏君 サウスルト此場合ニ養家ニ於テ生レタ子モ夫婦ニ就テ出ルコ
トニナリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 子ガ生レテカラ後ニ夫婦ガ家ヲ出タ場合デアリマ
スレバ其子ハ家ニ殘リマスノデ殘リマス以上ハ祖父母ガアリマスレバ其祖父
母ガ親權ヲ行ヒマスコトニナリマス

○名村泰藏君 ソレハドコニ規定ガアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ他ノ規定カラ自ラ出テ參リマスノデ即チ親
權ニ關シテ八百七十七條ニ「子ハ其家ニ在ル父ノ親權ニ服ス」父ガ家ニ在レバ
父ノ親權ニ服スルト云フコトニナル父ガ其家ニ居リマセヌケレバ子ハ其父ノ
純然タル親權ニ服スル譯ニハ相成リマセヌケレドモ後見ト云フコトニ相成リ
マス其後見人ト云フモノハ親權ト略ボ同シヤウナ効力ヲ有スルコトニナリマ
ス、後見人ニ關スルコトハ第九百三條ニ「前二條ノ規定ニ依リテ家族ノ後見
人タル者アラサルトキハ戶主其後見人ト爲ル」ソコデ九百一條ノ場合ハ親ガ
遺言デ後見ヲ定メタ場合デアリマス、即チ唯今ノ場合ニ關シテ九百二
條ノ場合ハ禁治產ノ場合デアリマス、即チ唯今ノ場合ニ關シテハ、唯今ノ場
合ハ九百三條デ戶主ガ後見人ト爲ルト云フコトデアッテサウスルト今ノ場
合ニ於テハ祖父ガ後見デアアル即チ名ガ後見人デアアルカラソレガ親權ト同ク子
ノ看護ヲ掌ルト云フコトニ相成リマス

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデ八百二十條カラ八百三十六條マデ……

○小幡篤次郎君 此婚姻ノ解除若クハ取消ト申シマスルノハ戸籍吏ニ届ケタ
ノヲ取消ヲシタ日カラト云フコトニナッテ居リマスガ其取消ヨリ三百日以内
ニ生シタ者ハ婚姻中ニ腹胎シタ者ト推定スルト云フコトニナッテ居リマス、
此取消ト云フコトノ事實ガ後レテ居ルコトダラウト思ヒマス大變期限モ過ギ
タモノデアラウト思ヒマス、是ヲ何カ打消シマシテ其家ヲ去ッタ時カラト云
フコトニ解サレマス他ニ定メガアリマス、ドウデゴザイマス、此通ヨリ
他ニナイノデスカ

○政府委員(穗積陳重君) 是ハ御説ノ通り丁度裁判ノアリマス日マデ夫婦ガ
同居シテ居ッタトハ看ラレナイ、併シツレハ他ノ婚姻ノ解除離婚又ハ死亡ニ
依リマス場合モ同ジコトデアリマシテ中ニ病氣ノ後死亡致シマスルトカ或ハ
非常ニ夫婦ガ和熟致シマセヌデ永イ間過ギテ終ニ離婚ノ談判ガ纏ッタト云フ
ヤウナコトガアリマスルノデ實際起算日ハ解除ノ日又ハ取消ノ期日ニ餘程近
クナッテ腹妊スルト云フヤウナコトガ何時デモアル場合トハ限ラレマセヌノ
デ併シドウモ取消等ノ場合ニ實際夫婦ガ同居致サナカッタト云フコトヲ起算

點トスル或ハ死亡ナトニ致シマシテモ實際重病ニデモ罹ッタ時カラ起算スル
トカ或ハ重病ノ時、離婚ノ談判中別レテ居ッタ日カラ起算スルト云フヤウナ
風ニ規則中ニハ立テルコトハ難儀デアリマスルガ若シ斯様ナコトヲ立デマス
ルト血筋ノコトニ争ヒガ多クナリマシテ表向キ分レルヤウニナッタノヲ起算
日トナスヨリ外ニ仕方ガナイト云フノデサウナッテ居ルノデゴザイマス
○小幡篤次郎君、ソレハ雙方ノ者カラ訴ガアリマスレバ別ニ裁判官ハ裁判ノ
仕様ガアルノデスカ、是ハ婚姻中ノ腹胎デハナイト云フ裁判ヲ下ス條項ガア
リマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ八百二十二條ニ「第八百二十條ノ場合ニ於
テ夫ハ子ノ嫡出ナルコトヲ否認スルコトヲ得」トアル母ハモウ自分ノ體ヨリ
産ミマスカラ夫ノ方ニナリマスルト唯今ノヤウナ場合デ長イ間病氣デ居ッテ
然ルニ子ガ出來テ或ハ出產スルコトハ最近種々度々裁判ガ起リマシタ

○小幡篤次郎君 了解シマシタ

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデハ八百三十七條カラ八百六十一條マ
デ……

○三好退藏君 八百四十三條ノ十五年未滿ノ者ハ養子ニスルト云フコトニ付
イテハ何モ別ニ調査會デハ御議論ハ無カッタコトデゴザイマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 此點ニ付キマシテハ固ヨリ種々議論ガゴザイマシ
タ或ハ幼者ヲ養子ニスルト云フコトハ不都合デアルト云フ議論モアリマシタ
ガ、兎ニ角モ我邦ノ慣習ニ於キマシテハ是迄父母ガ承諾シテ養子ニ遣ルト云
フコトハ古來認メテ居ルコトデゴザイマス、又多クノ場合ニ於キマシテハソ
レハ大變ニ利益ニ相成リマス、又時ト致シマシテ害ガ生ズルコトモアリモ致
シマスグレドモソレハ極メテ少數ノコトデアリマシテ若シ成年ニナリマセヌ
ナラバ養子スルコトガ出來ヌト斯ウ云フコトニナリマシテハ却ッテ此養子ニ
ナリマス者ガ少ナク小サイ内カラ養ッテ居ルト殆ンド眞ノ親子ノヤウナ情ヲ
生ズルモノデアルカラドウモ此制限ヲ附ケテ餘程年ヲ取ッタモノデナケラネ
バ養子スルコトハ出來ヌト云フト不都合デアリマス

○加藤弘之君 十五年トシタノハドウ云フ所カラ……

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ誠ニ數ノコトデ全ク其重モニ舊慣ニ依リマシ
テ大概十五年ト云フコトハ是迄モ御承知ノ通りソノオトナニナルト小供ニ近
イ位ノ……

○加藤弘之君 スルトマア十五年ハ成年ノ様ナ形デ……

○政府委員(穂積陳重君) ソンナ所ノ據所カラシテ……

○子爵曾我祐準君 第八百三十九條ハ但書マデハ男ガアレバ養子スルコトハ
ナラヌト云フコトデアアル、但女婿ト爲ス爲メニスル場合ハ此限ニ在ラス」男
ノ子ガアレバ男ヲ養子ニスルコトハナラヌ、ソレデ娘ノ婿ヲ取ル爲メニハマ
ア善イ、斯ウ云フコトデアリマスガ此女婿ト云フノガ家ノ相續人ニスルノハ
宜シイノデアリマスカ、又ハ女婿ト云フノハソレトハ違ヒマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 養子ト云フモノハ養子シタ後ハ實子ト同ジコト
デ、ソレデ女婿トシテ相續スルノハソレハ宜シウゴザイマスガ併シ法定ノ家
督相續人ト云フモノガアリマス場合ハソレヲ除ケマシテ濫リニ相續人トスル
ト云フコトハ出來ヌ、丁度其婿ガ相續人ノ順序ニ當レバ勿論實子ト同ジコト
ニスル

○子爵曾我祐準君 サウスルト實子ガアレバ娘婿ヲ取ッタ後實子ヲ除ケテソ
レニ家ヲ繼ガセルコトハ出來ヌデスカ

○政府委員(穂積陳重君) 斯ウ云フ譯デアリマス、例ヘバ私ニ二人ノ子ガア
ル、長男ガアッテ其次ガ娘デアアル、其娘ニ養子ヲ致シタ場合ハ勿論長男ヲ推定
家督相續人トスル、長男ガ……ソレノ逆サマニ長女ノ次ニ男ノ子ガアル、ソ
レデ長女ニ養子ヲ致シマスルト兄ノヤウナ譯デ長女ニ養子ヲスルト男子ノ推
定家督相續人ノ後ニスルト云フコトハ許シテアリマスシ是迄モ許シテアル、
本案モ其點ニ付キマシテハ現ニ推定家督相續人ノ男子ノアル場合ニハ其姉ガ
婿養子ヲ致シマス相續ノ點ニ付イテハ後カラ生レタモノト看做シテ第二順
位ニ居リマス、其邊ハ別ニ箇條ガアリマス

○名村泰藏君 先キデ御問ヒシタイト思ヒマスガ、序ニ女、嫡出ノ女バカリ
デアッテ其所ニ庶子ガアルデスナ、其場合ニ於テハ今日マデノ習慣デハ男子ハ
庶子ト雖モ女ニ先立ッテ家督相續人トナルコトハ許サレテアル、此何ニ據リ
マスルト女子ガアルト嫡長ノ女子ガアレバ庶子ハモウ家督相續トナルコトハ
ナラヌ御定メノヤウデアリマスガ……

○子爵曾我祐準君 ドウナリマス、私ニハ能ク判然シマセヌガ

○政府委員(穂積陳重君) 九百七十條ヲ御覽下サレバ分リマス
○子爵曾我祐準君 是ハ文字ノ御話デアリマスガ緣組ト云フコトハ夫婦ヲ拵
ヘルコトヲ緣組ト思ッタガ、夫婦ヲ拵ヘルコトノ場合デナク出來タモノヲ緣
組スルトスルコトガ出來ルノデスカ、一體是ハ今マデノ慣例デハナイガ事柄
ガ違ウニ依ッテ斯ウ云フ字ヲ御選ビ出シニナッタノデアリマスカ緣組ト云フ
字ハサウ云フコトニ當ルモノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) ソレハ御説ノ通り緣組ト云フ字ハ是迄結婚ニ使ヒ
マシタガ此養子關係ニモ使ヒマス、併シ最も多ク結婚ニ使ッテ居リマシタ、
此既成法典ノ編纂ノ時分以來ハ矢張伺、指令又ハ戸籍ニ關シマスル公文書ト
云フ物ナドニハ重モニ區別ヲ致シマシテ緣組ト云フ方ハ養子ニ使ヒマス、此
頃ハ少シ新ラシイ慣例ニナッテ、本案ニモ用井タノデアリマス

○小幡篤次郎君 此養子ト云フ箇條ノ中ニハ血族、其家ノ血筋ノ人トソレカ
ラ養子ノ血筋ノ人トニドチラカニ輕重ヲ置クト云フコトハ實際無イノデス
カ、全ク同ジコトニ見デアリマスモノデアリマスカ、又ハ其家ノ血族ガゴザ
リマシテ親等カラ言ヘバ少シ遠イガ養子ノ方ヨリハ血族ノ近イ人ガアリマシ
タ時ハ家督相續ヲシマス人ハドチラヲ一體擇ブ精神デゴザイマスカ此間ニ少
シモ區別ガナイノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) 養子ヲ致シタ以上ハ全ク血族親ト同シ關係ヲ生ズルノデス、總テノ點ニ於テ異ナラヌヲ通則ト申上ゲテモ宜シ、唯異ナリマカス點ハ結婚ノ點ニ於テ養子關係ハ其傍系親トノ結婚ヲ妨ゲナイコトニナリマス許シテアリマスガ今度ノ民法デモ矢張許シテアリマス

○三好退藏君 先刻ハ華族令ノ改正ニ就テ養子ノ所ニ血族ヲ重ニ定メラレテアリマシタガソレハ華族ニアレハ限ッテアルコトデアッテ一般ノ點ニ於テハ其血族ガナカツタトキニハ其者ノ結婚ヲ許スト云フコトデ血族ヲ重スルト云フコトハナイノデアリマス

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ昨日モ御質問ガ出マシタガ固ヨリ血族ヲ重シズルト云フコトハ我邦古來ノ法ニアルノデスガ是ハホソノ訓戒的ノ法令デゴザイマシテ血族親中ニ相當ノ者ガナイトキニハ他カラシテモ宜シイト云フヤウナコトガ書イテアリマス、ソレカラ成ルベク血統ノ者ヲ養ヘト書イテアリマスガ此前ニモ申上ゲマシタ通、徳川ノ初ニ之ヲ厲行致シマシタガ爲ニ段々弊ガ出來マシテ終ニソレハ徳川三代時分カラ廢メテ仕舞ヒマシタ、即チホソノ訓戒的ノコトニナッテ其親類カラ貰フコトガ出來ヌト云フコトヲ法律ニ必要條件トシテ書クコトハ出來ヌコトデアリマス

○子爵松平乘承君 先刻曾我君カラ縁組ト云フ文字ノ御尋ガ出マシタガソコデ此法律ヲ見マス普通ニ妻ヲ貰フト云フコトモ縁組ト云フガ是ニハ婚姻ト云フコトニナッテ居ル、サウシテ縁組ト云フコトハ養子ノ方バカリデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ養子ダケガ通例デアリマス

○子爵松平乘承君 サウスルト八百四十一條ニ「配偶者アル者ハ其配偶者ト共ニスルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス」トアルサウスルト養子スルニハ夫ノ妻モ承知シナケレバイカヌケレドモ二項ノ方ニ取除ケ見タヤウナコトガ出テ居ル、サウスルト二項ノ方デハ例ヘハ夫婦ノ中ノ一方ガ養子ヲシヤウト云フコトニナッテ片一方ノ同意サヘ得レバ宜イサウスルト養子ニナツタ者ハ其夫ガ養子シタイト云フノ妻ノ同意ヲ得レバ夫ダケノ養子デゴザイマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 西洋ノ養子ハサウ云フコトニナッテ居リマス、夫ノ養子デアッデモ妻ノ子デハナイ、我邦デハサウ相成ッテ居ラヌノデアッテ此養子ト云フモノハ養父母共ニ親子ノ關係ヲ生スルモノデアアルカラソレ故ニ西洋ノ例ニ倣ハスシテ配偶者ト共ニスルニ非ザレバト云フコトニ致シテアリマスカ

○子爵松平乘承君 サウスルト養子シタラバソレガ直ニ當事者ニ相成ルノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) 左様デゴザイマス、縁組ノ當事者ニ相成ナルノデ

○名村泰藏君 私ノ問ハ九百七十條ニ至ッテ更ニ御尋致シマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 八百六十二條カラ八百七十六條マデ……ソレデハ次ニ移リマス、第五章第一節第二節……

○子爵曾我祐準君 八百七十七條ノ「獨立ノ生計ヲ立ツタル成年者ハ此限ニ在ラス」ト云フト勝手ナコトヲシテモ宜イト云フコトニナリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) チョット何條デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 親權ノ始リ八百七十七條ニ「獨立ノ生計ヲ立ツル成年者ハ此限ニ在ラス」ト云フト親權ニ服サナイト云フコトニナリマセウカ、自分ノ營業ナリ官ニ就クナリ何ナリ自分ノ意思ノ欲スル所ニ依ッテ宜イト云フノデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ獨立ノ生計ヲ立テマスル成年者ハ親權ニ服サナイト云フコトハドウ云フコトデアアルカト云フト第二節ニ依ッテ分ルノデゴザイマスガ此親權ハドウ云フモノデアアルカト云フトマア親ノ權利トモ云ヒ親ノ利益トモ云フヤウナモノデアリマシテ、マダ未成年ノ間ハ子ノ監護教育ヲ爲ス權利ヲ有シ或ハ居ル所ヲ定メマスル、又ハ兵役ノ出願ヲスルニモ相談ヲシナケレバナラス、或ハ親ノ言フコトヲ聞カナケレバ懲戒場ヘ入レルト云フコトガ出來ル、併シ子ノコトニ就テハ營業ヲ爲スコトモ獨立ニハ出來ナイ、借金等ノコトモ獨立ニハ出來ナイ、贈物ヲシタリ讓與ヲシタリスルコトハ獨立ニハ出來ナイト云フノガ親權ノ効力、獨立ノ生計ヲ立テル者ハサウ云フコトニ羈束サレルコトハナイカラ之ニ但書ガ出來テ居リマスカ

○子爵曾我祐準君 官ニ就クトカ商賣ヲスルト云フコトハ勝手ニ出來ルノデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 左様デゴザイマス

○小幡篤次郎君 チョット伺ヒマスガ隱居ト申シマスモノハ舊來ノ隱居ト云フ者ハ今日ノ民法ガ變ッテ來テ隱居ノ有様ガ變ッテ參リマスガ隱居ニ子供ガ幾ラモアッテ隱居ハ親權ヲ行フ所デ、ト申シマスモノ、中ニハ隱居ハ少シモ外ノ者ト違ハズ親權ヲ行フコトガ出來ルモノデアリマスカ、戸主ニ親權ガ移リマスモノデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ隱居デアリマシテモ又ハ他ノ家族デアリマシテモ其子ニ對シマシテハ矢張親權ヲ此規定ニ依ッテ行フノデアリマス

○子爵曾我祐準君 兵役ニ就クノハ親ノ許可ヲ得ナケレバナラス、是ハ無論徵兵ノコトデナク自分デ志願シテ行ク方ノコトニナリマセウガ、婚姻スルコトハ戸主ノ保護ヲ重ンジテアリマスガ此場合デハ兵役ニ就イテ軍ニ出レバ死ヌト云フ考ヲ持ッテ行カナケレバナラスガソレデモ戸主ニハ關係セズ親バカリト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ其戸主ニ是非トモ相談シテ其許可ヲ受ケナケレバナラスト申シマスルモノハ主トシテ戸籍上ニ關係ヲ生ズル、婚姻養子縁組ノ如キコトハ戸籍上ニ異同ヲ生ジマス、從ッテ母ノ家ニ移レバ己レノ家デ敎

育養育スルト云フ義務ガナクナルト云フノデ戸主ノ方ヘ重キヲ置ク、兵役ニ就キマス如キコト又ハ其他營業ヲ致シマスル如キコトニ付キマシテハ最モ自分ノ利益ヲ重ニ計ッテ吳レル人ニ相談ヲ致スノガ先ヅ第一ノコトデアリマス、ソレ故ニ是ハ親ニ相談ヲスルト云フコトダケニ致シマシテ戸主ノ許可ヲ受ケルト云フコトニハナッテ居ラヌ

○子爵曾我祐準君 今ノハ分リマシタガ兵役ヲケ別ニ掲ゲタノハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ八百七十九條カラ來マシタコトデアリマシテ未成年ノ間ハ其子ノ監護教育ト云フモノハ親ガ主トシテ義務ヲ負ッテ居ルモノデゴザイマスカラ、ソレデ尙ホ兵役ヲ出願スルヨリハ學校ニ居ル方ガ宜イトカ或ハ兵役ヲ志願シタ方ガ宜イトカ云フ判斷ハ一ニ父又ハ母ガ八百七十九條ニ依ッテ判斷ヲスル權利ヲ持ッテ居ルノデ、ソレ故ニ茲ニ掲ゲテアルノデアリマス

○三好退藏君 此八百八十二條ニ「懲戒場ニ入ルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ此懲戒場ト云フノハ矢張政府ノ立テ、居ル今ノ懲治監懲治場ト云フモノバカリニ限ルノデアリマス、或ハ私立ノ感化其他ノモノハ之ニハ籠ッテ居ラナイノデアリマス

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ實ハ懲治場ト初メハ書カウトモ考ヘテ居リマシタ、併シ懲治場ニ入レマスノハ不當ナ場合ガアリマスカラ、兎ニ角裁判所ノ許可ト云フモノガアリマスカラ、ソレ故ニ獨リ懲治監懲治場ニハ限リマセヌ、適當ナ感化院等ガ段々出來テ參リマスレバ裁判所ガサウ云フ所ガ宜イト認メマスレバ其中ヘ入レテモ差支ナイト云フ積リデアリマス

○三好退藏君 總テ感化院ヘ入レルニモ裁判所ノ許可ヲ得ナケレバナラヌト云フコトニナリマス

○政府委員(穂積陳重君) 勿論デゴザイマス

○久保田讓君 今ノ御問ノ續キデ、感化院ト云フノハ懲戒場デハナイヤウデアリマス、感化院ハ一ノ教育場デ、惡イ浮浪ノ者ヲ教育スル所デ懲戒スルト云フ精神トハ違フト思ヒマスガ、之ヲ感化院ヘ入レルト云フコトマデ裁判所デヤルト云フコトハ變ナコトニナリハシナイカト思ヒマス

○政府委員(穂積陳重君) 懲戒ト云フノハ教育ノ一ツノ方法ト云フ考デ本案ニハ立テ、アリマス、決シテ唯ソレニ怨ガアッテ苦痛ヲ與ヘルト云フノガ目的デハナイノデアリマス、本案ノ懲戒ト云フノハ教育ノ一ツノ方法デアルト認メテ居リマス

○久保田讓君 ソレデハ尙ホオカシイコトデ、裁判所ノ許可ヲ經テサウシテ教育場ニ入レルト云フコトハ一向分ラナイ、御承知デゴザイマセウガ今ノ感化院ハ座敷牢ヘ入レテ置クト云フヤウナモノデハナイ、全ク所謂感化ノ力デハノ感化シテ、惡イ奴ヲ感化シテ行ク、決シテ窮屈ハ感ゼヌノデアリマス、昔流ノ酷イ牢ヘ入レルト云フヤウナ所デハアリマセヌ、全ク進歩シタ懲戒教

育ノ方法デアリマスカラ教育ヲスルノニ裁判所ノ許可ヲ得ナラヌト云フコトハドウモ餘程オカシイヤウニ思ヒマス

○政府委員(穂積陳重君) 久保田サンヘ申上ゲテ置キマスガ勿論感化院ハ教育目的ト致シテ居ルノデ、ソレデ此懲戒場ト申シマスル所ガ竝ノ學校ノ如キモノデアリマスルナラバ少シモ差支ハナイノデアリマス、兎ニ角感化ト云フモノニモ種々ノ方法ガアルヤウニ承知致シテ居リマス、竝ノ學校ヘ入レルナドトハ自ラ場合ガ違ヒマスルノデ、ソレ故ニ兎ニ角懲戒ノ方法ニ依ッテ教育ヲ爲サウト云フ所ニ入レルニハ其親權ヲ持ッテ居ル者ガ學校ニ入レテ又久保田君ノ御説ノ如ク懲戒ノ效力ガ感化ハ少イト云フコトデアレバ本案ノ懲戒場ニハ這入りマセヌデゴザイマス

○男爵小澤武雄君 此八百七十七條ノ「又ハ親權ヲ行フコト能ハサルトキ」ト申スノハ女工デモ致シテ居ルトキハ總テ之ニ籠ル譯デゴザイマス、ソレカラ其次ニハ八百七十九條ノ「親權ヲ行フ父又ハ母ハ未成年ノ子ノ監護及教育ヲ爲ス權利ヲ有シ義務ヲ負フ」トアル是ハ能ク分ッテ居ルガ是デ見ルト云フト親權ヲ行フ父ガアレバ父ヨリ外ハ親權ヲ行フコトハ出來ナイコトモアルマイガ義務ガナイ譯デアアル所ガ此未成年ノ子ノ監護及ヒ教育ト云フコトデアルト家庭ノ教育ナドノコトハ是マデノ慣例デモ父ガ之ヲ行フケレドモ其母ガ監護モ教育モスルト云フコトハ古來ノ慣習デ必要ノコト、思ハレルノデアアルガソレヲシテ惡イト云フコトハアルマイケレドモ其法文ニ親權ヲ行フダケノ義務ヲ負フト云フト其事柄ノ裏ニハ何ニモセヌデモ宜イ、小供ノ教育ニ付テアナタハソナコトヲセヌデ宜イト云フコトヲ言フテモ宜シイヤウニ思ハレル、ソレハドウカデサウデモナイ此反對ノ法文ガアリマス譯デゴザイマス

○政府委員(穂積陳重君) 第一ノ御問ハ親權ヲ行フコト能ハザルト云フコトデアリマスガ是ハ最モ廣イ意味デアリマシテ種々ノ事實ヲ含ンデ居ル例ヘバ父タル者ガ發狂致シマスル或ハ公務其他ノ事由ニ因ッテ長イ間子ト同居スルコトガ出來マセズ旅行ナドハチヨットシタ旅行ナドハ含ムトハ申サレマセヌガ或場合ニ於テハ旅行ナドモ含ムコトガ出來マス、畢竟ハ極ク廣イ意味デアリマシテ事實上第二節ニ掲ゲタコトヲスルコトガ出來ナイ中ニアルトキニハト云フ意味デアリマス、第八百七十九條ハ決シテ父ガ親權ヲ行フトキハ法律ハ母ハ其子ノ監護教育ヲドウシテ置イテモ宜イト云フコトヲ指圖シタ譯デアナイ、畢竟此處ノ規定デモ外ノ規定デモドレダケハ法律デ強ユルコトガ出來ルカト云フト道德ノ最低度デアアル、是ヨリ上ハ國デモ許スコトガ出來ナイ又爭ガ出來テモ是ダケハ法律デ強行スルコトガ出來ルト云フ爲ニ設ケテアルノ道德ノ最高標準ヲ示シタノデハナイ、親カ子ヲ教育スル親モ自然ノ德教ニ任セルノデゴザイマシテ監護ト云ヘバ例ヘハ子ハ自分ガ監護ヲ受ケテ居ルコトハナイト云ッテモ是ハオマヘノ受持デアルト云ッテ教育ヲスル場合デモ是ハオマヘノ受持ダト云フコトヲ云フテ權利義務ノ問題ニナリマシタトキノ

一番低い程度ヲ極メテアルノ決シテ父ガ親權ヲ行フトキハ母ハ之ヲマルデ放棄シテ置イテモ宜イト云フコトハ此裏カラ出ル積リ所デハナイ、是ガ最上ノマツト上ヲヤラウト云フ精神デゴザイマス

○子爵(曾我祐準君) 第八百八十八條ノ所ニ「親權ヲ行フ父又ハ母ト其未成年ノ子ト利益相反スル行爲ニ付テハ父又ハ母ハ其子ノ爲メニ特別代理人ヲ選任スルコトヲ親族會ニ請求スルコトヲ要ス」是ハ父ト子トノ言ハバ喧嘩ト云フ様ナ譯デゴザイマス喧嘩ヲ利益相反スルト云フ譯デ特別代理人ヲ選定スルト云フコトガ出來マスガ是ハドンナ風ノ者ヲ選ブコトニナリマス

○政府委員(穗積陳重君) 此特別代理人ト云フ者ハ決シテドンナ者デナケレバナラスト云フコトハアリマセヌ、竝ノ代理人ト同ジコトデ、ナゼ特別ノ代理人ト云フカト云フト親權ヲ行フ父ト云ヘバ外ニ對シテハ子ノ代人デス、然ルニ自分ハ子ヲ代表シ例ヘバ子ノ持ッテ居リマスル家ヲ自分ガ借入レルトカ何トカ云フトキニ父ノ方カラ云フト借賃ノ安イ方ガ宜イ子ノ特別財産ノ方カラ云ヘバ貸金ノ高イ方ガ宜イト云フコトニナル其時分ニバ立會人見タヤウナ親類ト相談ヲシテ子ノ利益ヲ見ル爲ニ特別代理人ヲ指ヘルト云フコトニナリマス

○加藤弘之君 此特別代理人ハドンナ者ヲ極メマス

○政府委員(穗積陳重君) ソレハ親類協議ノ上ナラ誰デモ宜シイ

○加藤弘之君 サウシタラ子ノ方ノ利益ヲナイ者ヲ選ブト云フコトガナイトハ云ヘナイ

○政府委員(穗積陳重君) ドウモ親類ガ惡ケレバ仕方ガアリマセヌ

○加藤弘之君 利益相反スルト云フコトハ未成年ノ子ハ何トモ言ハナイデスガ

○政府委員(穗積陳重君) 未成年ノ子ハ別シテサウ云フコトハ言ハナイカモ知レマセヌ唯事柄ニ依ッテ判斷スルノミデ其取引ヲ右ト極メレバ親ノ利益トナル左ト極メレバ子ノ利益トナルト云フ様ナ場合デゴザイマス

○加藤弘之君 公平ノ親ナラ判斷シマセウガ子ノ不爲ヲ思フ者ハ判斷セヌカモ知レマセヌ

○政府委員(穗積陳重君) サウデハナイ……

○三好退藏君 親族會議ニ請求スル許リデ裁判所ニ持ッテ行クコトハ許サヌト云フ精神デアリマス、又ハソレハ妨グヌノデアリマス

○政府委員(穗積陳重君) 裁判所ハ之レニ依ッテ權利ノ爭ヒヲ生ジタ場合ヨリ外ニハ出來マセヌ

○三好退藏君 親族會議ハ許サヌト云フトキハ裁判所ヘ……

○政府委員(穗積陳重君) 此請求ガゴザイマスレバソレハ裁判所デ……

○子爵曾我祐準君 實際ドウ云フコトデアリマス、カ子ガ利益ヲ親ト爭フナドト云フノハドウ云フ場合ニソナコトガ出來マス

○政府委員(穗積陳重君) 近頃ハ別シテ地券發行以來其外有價證券ノ類ガ出

來マシタリ株式ガ出來マシタリ、記名財産類ガ多ク出來ルニ從ッテ極ク幼年ノ者デモ澤山財産ヲ持ッテ居ル、ソレ故ニ重キニ財産ノ關係カラ……

○子爵曾我祐準君 併シ子ニ財産ガ出來ルト云フノハ親ニ貰ハナケレバ……

○政府委員(穗積陳重君) 是ハ親ガ特ニ貯金ヲシテ遣ッたり或ハ親ガ株式ヲ買入レテ遣リ又全ク他人カラ譲受ケタリ種々ノ原因ニ依ッテ特別財産ガ出來ルノデ……

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ次ニ移リマス

(此時伊藤總理大臣著席)

○久保田讓君 私ハチヨット此際委員長ニ……私ハ全體極初メニ方ッテ此大體ノコトニ付キマシテ政府ノ國務大臣ガ御出席ニナッテ御尋フシタイと思ッテ居リマシタガ其當時出席ガゴザイマセヌ、今朝司法大臣ガ御出席ニナリマシタガ、是ガ濟ミマシタ後デ御尋ネフシタイと思ヒマシタ、幸ヒ唯今總理大臣ガ御出席ニナリマシタカラ再び又御出デニナルト云フコトハ餘程御用都合モアリマセウカラ成ルベク此際大體ノコトヲ御説明ヲ願ヒマス、甚ダ都合ガ宜シイト思ヒマス、ソレデ今箇條ノ質問ノ進行中デアリマシテ甚ダ妨グニナリマスガ……

○委員長(侯爵黑田長成君) 諸君カ別ニ御異存ガゴザイマセネバ……

(「異議ナシ」ト述フル者アリ)

ソレデハ宜シウゴザイマス

○久保田讓君 ソレデハ總理大臣ニ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) ドウ云フコトデ……

○委員長(侯爵黑田長成君) 大體ニ就テ……

○久保田讓君 詰リ外國ノ條約ト關係ノコトニ付イテ先達デ議場デチヨット御尋ネフシマシタガ議場デハ少シマダ公然ト御尋ネ仕惡イヤウナ箇條モゴザイマシテ委員會デ伺ヒタイと思ッテ居リマシタカラ總理大臣デモ司法大臣デモドナタデモ宜シウゴザイマス、私ハ此民法修正案ノコトニ付キマシテ先日本議場ニ於キマシテ概略伺ヒタイ點ヲ申述ベテ司法大臣ニ御尋ネシマシタコトデゴザイマシテ、此大要ハ分ッテ居リマス、ソレデゴザイマスガ、即チ民法、

斯ノ如ク重要ナル國ニ關係ヲ持ッテ居ル所ノ法案ヲ今度御提出ニナッテ僅カノ時間ニ此法案ヲ出サナケレバナラヌ場合ニ臨ンダノハ餘程是レハ急ヲ要スル、實ニ萬已ムヲ得ザル所ノ事情ガアッテ御提出ニナッテコトト勿論御察シ申ス次第デアルガ、併ナガラ又我々議員タル者カラ考ヘテ見レバ此議案ヲ熟讀スル暇モナク殆ド素讀スル暇モナク議了ヲシテ仕舞フト云フコトモ出來ナイ次第デアルノデゴザイマス之ヲ詳シク能ク調ヲ致シテ又質問ニ質問ヲ重ネルト云フコトニナレバナカナカ民法一ツダケデモ一週間ヤ十日デハムヅカシイダラウト思フ、加之之レニ附屬シテ居ル所ノ法律戶籍法其他隨分此院ヘ參ッテ居ル法律モ數多イコトデアリマシテナカナカ私ナドノ如キ愚鈍ノ者ニハ素讀……一讀ヲ經過スルコトモ出來ナイ譯デアリマス、併シ此事ガドウシテモ

是ハ國家ノ國政ノ必要上カラシテ是非トモ之ヲ此短期ノ間ニ通過サセナケレバ相成ラヌト云フヤウナ大イナル關係ノアルコトデアレバ

(此時近衛議長來リ伊藤總理大臣ト立談セルヲ以テ暫時演說ヲ中止ス)

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) マダアリマス

○久保田護君 實ニ已ムベカラザル急要ナルコトガアレバマタツレハ熟考モ致サシナラヌ次第デアリマスガ先達テ司法大臣ガ大略ノ御答ニ依レバ全ク條約改正實施ノ關係ニ依ッテ此法典ヲ施カレルト云フコトデアッタデアリマス、ソコデハ條約ノ改正實施ノコトニ關係ヲ致スト云フコトデアリマシタラ其事ニ付イテドウモマダアレダケノ御答デハ私ハ甚ダ了解イタサナイ場合ガアリマス、ツレカラモウ少シ立入ッテ此條約ニ關係ノコトヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、即チ今日ツレヲ伺ヒタイノデアリマス、此法典ノコトガ條約ヲ實行スル上ニドウシテモ此法典ヲ實行セヌケレバ條約ノ改正ヲ實行スルコトガ出來ナイト云フ事柄ガ唯先達ノ御答デハ外交上ノ通知文ガアッテツレニ法典ト云フコトガ書イテアルカライカナイト云フ御答デアリマシタガ此法典ト云フモノガドウ云フ解釋ニナッテアリマスカ或ハ此民法ト云フモノハ、即チ此人事篇ナドノコトハ是ハ到底取除ケルコトハ出來ナイカ否ヤ、其邊ノコトハドウモ先達テ議場デハハッキリ致シマセヌ、ツレニ先達テ伺ヒマシタ所デハ色々外交上ノコトニ付イテ公文其他ガアルヤウナコトガアルト思ヒマス、ツレデ先達テハ控ヘテ居リマシタ、先ツ御尋ね申上ゲタイノハサウ云フ大要デゴザイマス、ツレニ付イテ成ルベク詳シク了解イタスヤウニ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 餘リ其事ハ込入ッテ居リマスカラ極詳シイト

云フダケノ御返答ヲ申ス爲ニハ餘程時間ヲ費サウカト存ジマスカラマア私ガ試ニ簡略ニ御答ヘテ申シテ御了解ニ相成ルヤ否ヤハ存ジマセヌガ大體ヲ御話ヲ申シマス、此法典問題ト云フコトニ付テハ二様ニ御覽ニナルコトガ必要デアルト思フ、此法典問題ハ憲法ノ實施サレルト云フヨリ前カラ既ニ法律編纂ノコトト云フモノハ司法省ニ於テ著手ニ相成ッテ居ッタデアリマス、而シテ所謂五法ノ一部分トナル刑法及ヒ治罪法等ガ先キニ行ハレテ居ル、而シテ其民法ノコトニ至ッテハ編纂ノ爲ニ時日ヲ非常ニ要シタ爲ニ後レテ居ッテ種々ナル議論ガ法典ノ事ニ付テアルニ拘ハラズ憲法政治ナドト云フモノヲ實行サル上カラハ刑法ハ勿論ノコトデアアルガ民法商法ノ如キモノモ相伴フテ行ハレナイト云フト本當ノ憲法政治ナルモノニ適合シナイ、外國交際上條約改正ニ關係ガナカラウトモ是ハ必要ナル法典デアッタ認メラレタデアリマス、故ニ此何年デアッタカ私ハ年月ヲ記憶シマセヌガ司法省ニ於テ法典編纂ニ從事シテ現今發布サレテ居ル所ノ法典ト云フモノハ現在アッテ施行ガ中止サレテ居ルデアリマス、其施行ノ中止サレテ居ル理由ハ私が述べストモ即チ修正ヲ必要トスルコトハ議會ノ議決ニナッテ現在法典ノ施行ガ延期ト相成ッテ居ル、ツレデ唯リハ條約改正ノミト云フ議論カラ見解ノ起ッタモノデハナ

イ、日本ノ國政整理上ヨリ又人民社會上ニ於テモ亦必要ト云フコトハ上下共ニ認メラレタ所ノモノト考ヘル、ツレデ此最初ノ法典ナルモノハ司法省ニ於テ拵ヘテツレカラ元老院議ニマデモ上ツタノデ發布サレタデアリマスガツレガ延期ト相成ッテ延期ガ二度モ重ツテ居ル、ソコデ同時ニ一方ニ於テ亦外國トノ關係ヨリシテ條約改正論ガ起ツタ、條約改正ト云フハ此日本ノ條約改正ナルモノハ單純ノ條約改正ナルモノト違ヒ條約ノ性質ニ於テ普通ノ通商條約ト一樣ニ見ルコトハ出來ヌト云フモノハ通商條約ナルモノハ其中ニ含ンデ居ルケレドモ素ト所謂此邦土論ニ屬スル事柄デ所謂てりりやるち即チ邦土論ニ屬スルモノハ是ニ於テ法典ノ編纂ヲシヤウト云フノハ今ノ現存ノ條約ハ私ノ申スマデモナイ諸君ニ於テ御承知ノコトデアアルガ所謂治外法權ナルモノヲ存シテ居ル其治外法權ナルモノヲ存シテ居ル間ハ國家獨立ノ權能ヲ全ウスルコトハ出來ヌト云フコトヨリシテ維新以來ノ方針シテ此條約改正ヲ實行シテ萬國普通ニ持ッテ居ル國際上ニ於テ萬國公法ノ下ニ棲息シタイト云フ爲ニ條約論ガ長ク掛ッテ今日マデ繼續シテ參ッタ、此條約ヲ實行スルト云フコトニ矢張法典ナルモノハ伴フテ來タノデ適々以テ條約改正ヲスルト云フコトヲ希望ヲ抱ケカラツレカラ伴フテ來タ條約改正ヲセズ今マデノ通りニ治外法權ノ儘ニシテ行ケバ如何ナル法律ガ行ハレテモツレニ伴フ必要ガナカッタ、ツレデ是非爲シ遂ゲナクテハナラヌト云フ議論ヨリシテ伴フコトニ相成ッタ、ツレデ長イ此條約改正ノ歴史ヲ御覽ニナレバ能ク分リマスルガイッモ日本ノ法律ノ闕典アルガ故ニイカヌト云フ様ナコトニ即チナッテ居ッタ、ソコデ政府ニ於テハ條約改正ヲ實行シテサウシテ普通國家ノ得ベキ權能ヲ内外ノ人民ノ上ニ行ハレルヤウニシヤウト云フコトヨリシテ尙更此法典ノ完結スルコトヲ急イダデアリマス、其急イデ出來タ所ノモノガ不十分ダト云フノデ修正論ガ起ッテツレデ今日ニ及ジデ參ッタノデ、ソコデ此事ハ二ツナガラ牽連シテ居リマスルガ中ニ於テ法典ノ實行サレザルヲ得ヌト云フコト又改正條約ヲ實行スルト云フコトハ伴フテ來テ居ル、ツレデ單純ニ唯條約改正ト云フコトノミヲ以テ言フニ非ラズシテ即チ明治三十一年六月三十一日マデノ延期ニ相成ッテ居ルノデアリマス、此改正ヲシタ所ノ條約ヲソコデ行ハムトスルト云フト改正ヲシナケレバ實行ノ上ニ不十分ナリト認メラレタ所ノ法典ガ蘇生セザルコトヲ得ヌト云フコトニナル、ツレハ一ノ立法上ノ關係デアアル、又外國ノ法律ノ關係ハ無論之ガ條件ニナッテ居ルノミナラス改正ノ條約ヲ實施スルハ此法典ノ實施一年後ト云フコトニナル、ツレデ條約上ノ文言ヲ明ニ私ハ記憶シテ居リマセヌカラ詳細ノ御話ヲ申スコトハ出來マセヌガ是ハ條約ナルモノヲ發布サレテ居ルカラ之ニ付テ御承知デモアラウ、現在修正ニナッテ居ル所ノ法律ヲ發布實施サレテ一年ヲ經過スレバ改正條約ヲ實行スルト斯ウ云フコトニナル故ニ無論此法典ヲ實行サレナカッタナラバ條約ノ實施ハ出來ナイ、又ツレガナクモ此條約ヲ實施シナケレバナラヌト他國ニ向ッテ要求スルノ口實ヲ持タヌ、初マリカラサウ云フ約束デ成立ッテ居ルノデア

ルカラドウシテモ此法典ガ實施サレナイト云フト條約ノ實行ハ出來マセヌノ
デゴザイマス、實行シタル上尙ホ一年ヲ經過シナケレバナラヌト云フ條件マ
デモ通ツテ居ル、一年ト云フモノハ法典實施ノ上ニ誠ニ最下限ヲ取ツテアル
ノデアリマス、而シテ是レガ實施サレタ以上ニ於テ司法官モ又人民モ多少慣
熟スル所……ト云フ所ノ程度ト認メルヨリ外ナイ、此最下限ヲ取ツテアル、
始メノ間ハ各國デモ條約ヲ實施サレテサウシテツレガ満足ニ行ハレルト云フ
コトノ條件ガアリマシタケレドモ最後ニ至ツテツンナコトハ、取除ケテ仕舞ッ
テ法典實施ト云フコトガマア條件ト相成ツテ居ル、ツレデ此法典ガ實行サレ
ナケレバ無論此條約ノ實施ハ出來ナイ、故ニ成ルタケ短期ノ議會デアッテ之
レヲ細密ニ討論評議スルト云フコトニ至ツテハ無論至難ト云フヨリハ寧ロ出
來ナイト云フコトヲ言フ外ハナカラウ、而シテ其一方ノ事情ニ於テハドウナッ
テ居ルカト云フト各國ノ條約ガ大概來年ノ七月十七日ヨリ實行スルヤウナコ
トニナツテ居ル、多少コトデ緩ミガ附キマセウガ相談ノ上デ……ケレドモガ
長ク之レヲ延期シヤウナドト云フコトハ到底出來ナイ、到底舊トノ條約ニ立
歸ル外ナイノデス、ツレデ此條約實施ノ上ニ付イテ牽聯スルノ事情モ亦能ク
御考ヲ願ヒタイ、此事ハ又經濟上等ニモ伴フテ居ル、條約ヲ實施スレバ其實
施後五六箇月カラハ新規ニ取結ンダ條約ニ附帶シテ居ル所ノ稅則ヲ……海關
ノ歲入ヲ増スコトガ出來ルト云フコトニナル、又普通ノ稅則ナルモノヲ行ヒ
得ラレルト云フコトニナル、所ガ此新條約、即チ改正條約ノ實行ト相伴フテ
居ルノデアリマス、ドウゾ諸君ニ向ツテ是ヲ官判ヲ御察キナサイト強ヒルコ
トハ出來ナイガ又政府ニ於テ之ヲ實行シナケレバ到底此新條約ノ實行ハ出來
ナイト云フコトノ事情已ムベカラザルモノデ、ツレデ是モ不幸ニ不幸ヲ重ネ
テ居ル事情モアル、昨年ノ議會ニシテ若シモ解散ヲシナカッタナラバ此法典
ナドモ昨年ノ議會ヘ持出サナケレバナラヌ、所ガマア不幸ニシテ解散ヲサレ
タ次第デアッテ急迫ノ形勢ニ立到ツテ參ツタノデアリマス、ツレデ又此法典
中ノ或部分ガ條約改正ニ伴ハナクツテモ宜カラウ、所謂其親族篇トカ云フ如
キモノ、人權人事ニ立入ツタヤウナコト、所ガ是モ實行サレヌト云フト改正
條約ヲ實行シナイト云フコトノ口實ヲ與フルダケノ價值ガアル、ツレデ即チ
舊民法ノ……修正ニ付託サレタル所ノ法典ハ悉ク實行ヲスルト云フ方針ヲ執
リ又外國ノ政府ニ向ツテモ其意味ヲ以テ談判ヲ結了サレテアルノデアリマス
カラ茲ニ至ツテハ政府モ議會モ孰レノ決斷ヲ執ルカト云フニ政府ハ何所マデ
モ之ヲ實行シテ而シテ改正條約ヲ數年掛ツテ今日ハ漸ク其結了ヲ見ルコト
ニナツテ効果ヲ見タイ、實行シタイト云フ方針デ居ルノデ、之レヲ片跛ニシ
テヤルト云フコトハ到底私ニ於テハ見込ガ立たヌノデアリマス、是レダケノ
御話ヲ申シテ置キマスノデゴザイマスガ、尙ホツレニ付イテ御疑念ノ點ガア
レバ御答申シテ宜シウゴザイマス

○久保田讓君 唯今總理大臣ノ御答辯デ段々分リマシタコトガアリマシタガ
要スルニ此法典ガ制定ニナリマシタ沿革趣意重要ナコトヲ御話ニナツテ此法

典ハ獨リ外國ト條約ノ關係ノミデハナイ、矢張內國ノ必要上カラ憲法實施上
ノ必要カラ御制定ニナツタコトデアッテ若シ之ヲ施行シナケレバ即チ今日延
期ニナツテ居ル所ノ舊イ民法ハ即チ六月三十日マデ延期ニナツテ居ルノヲ行ハ
ナケレバナラヌヤウナ結果ニナツテ來ルト云フ一ノ理由デアリマスガ、其方ハ
勿論左様ナ次第デアリマセウガ六月三十日ニ何トカマア延期ノ一ノ法律デモ
出シタナラバ其方ハソレデ宜シウゴザイマス、即チ矢張先刻カラ御尋ネ申シ
タ通り條約ノ關係デアリマス、唯今總理大臣カラ御述ベニナリマシタ通り此
法典ノ施行ト云フコトガ即チ條約ノ改正ノ一ノ條件ニナツテ居ル次第デアリ
マスカラ是ヲ實行シナケレバ條約ノ實行ハ出來ナイ場合ニナルト云フコトニ
歸著スル、ツレデモウ一層私ガ伺ヒタイノハ所謂其條約ニ書イテアル所ノ法
典ト云フモノニハ此民法ト云フコトモ包含シテアルヤ否ヤ、ツレデ民法ト云
フモノハ包含ヲ致スト致シタ所デ民法ト云フモノ、中既ニ改正施行ニナツテ
居ル分ガアル、即チ茲ニ制定ニナツタ親族篇、人事ニ關シタコトデゴザイマ
スガ此事モ包含ヲ致シテ居ルト云フコトハ明カデアリマスガ、如何デアリマ
スカ、若シ之ヲ包含シテ居ルモノト假定ヲ致シマシタ時分ニ此人事ニ關シタ
コトモ條約改正ト共ニ是非行ハナケレバナラヌト云フ必要ガアルノデアリマ
セウカ、如何デアリマス、ツレカラ或ハ其左マデ必要ハナイコトデアアルガ最
初カラ談判ノ行掛リ上左様ナコトニナツテ居ルト云フナラバ現時ニ至ツテ改
メテ民法中即チ此親族篇ニ關シタコトニ付イテ是ダケヲ延べルトカ或ハ除ク
トカ云フヤウナコトニ付イテ條約各國ヘ御談判御話ニナツタコトガアルデア
リマセウカ、是ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 除ク談判ヲ致シタコトハナイ、固ヨリ其除カ
ヌ積リデアリマス、又其事ニ付イテハ除クト云フ議論ハ近來私ハ聞クノデア
ルガ今マデ此法典延期ノ時カラシテ是ハ取除クト云フ議論ノアツタコトハナ
イノデアアル、故ニ是ハ除カヌ積リ今日マデ來テ居リマスカラ取除クト云フ希
望ノ人モアラウケレドモ政府ハサウ云フ考ヲ持ツテ居ナカッタカラサウ云フ
談判ヲスル所デハナイ完全ナルモノニシテヤラウト云フ位ナ希望デ居ツタノ
デアリマスカラ無論是モ含ンデ居ツタコトハ疑ヒナコト、御了解下サツテ
宜シイ

○子爵曾我祐準君 今久保田君ノ御質問ニ對シテ總理大臣ノ御説明ハ能ク分
リマシタガ其履歷ニ就テノ事ハ殊ニ能ク分リマシタガ實ニ總理大臣ノ仰セラ
ル、通り如何ニモ浩瀚ナルモノデアリマス、此浩瀚ナルモノヲ僅ノ日子間ニ
議員モ殆ト官判ト云フヤウナ譯ニ通過サセナクテハナラヌト云フノハ色々ノ
不幸ガ重ツタト云フコトハ誠ニ總理大臣ノ仰シヤッタ通デゴザイマス、ツレ
ハ能ク分ツテ居リマスガ不幸ニ不幸ヲ重ネテ來タツレ故ニ熟考ドコロデハナ
イ熟讀モセズニ通過サセルト云フコトハ餘程實ニ困ル話デアアル、ツレモ後デ
直キニ取返シノ出來ルヤウナ法律ナラバ兎モ角デアリマスガ是ハ何サマ人間
ノ倫理道德、是ハ倫理道德ヲ支配スルト云フノデアリマスマイガ即チ親子

ノ訴、夫婦ノ訴、婚姻、養子ナドノヤウナモノハ之ヲ標準トシテ此先キ裁判
スルト云フコトニナレバ倫理道德ノ制裁ハ是デ極マルト云フコトニナラウト
思ヒマス、去ナガラ條約改正ニ必要デアリマセウガ條約改正ハ即チ外國人ニ
取ツテハ此事情ガ實際此制裁ノ下ニ外國人が支配サレルト云フ譯デハナイヤ
ウニ法令デモ出來テ居リマスコトデアレバ何トカシテ今暫ク延ベ得ルト云フ
方針ヲ……是マデ御執リナサヌ、ト云フコトハ能ク分リマシタガ若シ是ガ
取急イデ他ノ法典ガ悉ク行ハレテ居ル、親族篇相續篇ノ如キハ今一年ナリ半
歳ナリ熟考ノ違ガアツタナラバ決シテ後悔スルヤウナコトモナク他日日本ノ
爲ニ憂ヲ遺サス即チ臍ヲ嚙ムノ憂ヲ遺サヌデアラウカト云フ念ヲ起スノデア
リマス、何サマ是マデノ日本ノ慣習上是ト照シ合セテ見マスルト此方ガ極ク
宜カラウト思フコトガ澤山ゴザイマス、去ナカラ何分澤山ノコトニアルニ依
テ或ハドウ云フ風俗慣習ト異ナツテ居ル倫理道德上社會ノ制裁ニ非常ナ激
變ヲ起サセルコトハナイデアラウカ、斯ノ如クナツタナラバ臍ヲ嚙ムノ憂ヲ
遺サデハアルマイカト云フコトヨリシテ私共ガ今日大ニ憂慮シテ居ルコト
ゴザイマス、幸ニ御議論ニナリマシタ通り何トカ致シテ親族篇相續篇ノ如
キハ外國人が其制裁ノ下ニ立タヌト云フコトデアツテ見レバ何トカ談判ヲシ
テ一年ナリ半歳ナリ延バシ得ルト云フコトハ出來ヌモノデアリマセウカ、幸
ヒニ今日此御話ガアリマシタカラ伺ヒマス

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 今法律其物ノ議論ハ暫ク措キマシテ其條目ニ
就テ當該ルトカ箴ラヌトカ云フコトハ他ノ委員カラ御話致シマセウガ大體
ニ於テ今日ハ已ムヲ得ズ今日マデ其順序デズツト進行シテ來テ仕舞ツテ日本
國ノ體面上ニ於テ今更持出スト云フコトハソレハ餘程至難ノコトト云フコト
ヲ御了解ヲ願ヒタイ、タツタ一ツノ國デアルト仕宜イガ一ツ折合ヘハ一ツガ
不承知ヲ言ツテ參ル十六七モアルモノヲ相手ニシテ大要同ジ所ニ歸著セシメ
タルト云フコトニ就テ皆各國共ニ利害ノ關係スル所ヲ異ニシテ居ルモノヲ漸
ク纏リガ今日出來掛ケテ來タノ事實ハ彼等ニ取ツテユライ利益ト思フ點ハ
少イ

○子爵曾我祐準君「サウダラウト思フ」ト述フ

ソコデ破ラカスト云フ側ハ多ウカラウガ如何ニモ今日マデ日本ガ東洋ノ諸國
中先ツ何レノ國デモ先例ノナイコトヲ要求シタノデ今日ソレヲ遂ゲムトスル
ノ場ニ臨ンテ辛ウジテ其承諾ヲ得タノデアル、マダモウ一ツ塊地利ノ條約批
準ダケ殘ツテ居ルノデアリマスガ之ヲ向フノ議會ガ……コッチノ議會モ喧シ
イガ向フノ議會ノ喧シサト云フモノハ言語道斷ノ有様デゴザイマス、其爲ニ
批准ヲ實行スルコトガ出來ズト居リマスガ向フノ政府デ則チ今月議會ヲ開ク
ノデスガ今月議會ヲ開ケハ批准ノ事ヲ實行スルト言ツテ居リマス、サウスル
ト悉ク是デ完結スルノデアリマス、コチカラ非常ナ要求シテ今日マデ來ツ
テ漸ク各國共ニ纏ツタモノデアルカラソレニ向ツテ一國ガ折合フト他ガ折合
ハ又右ガ折合ヘハ左ガ折合ハ又甲ガ承知スレバ乙ガ承知セヌト云コトニナツ

テ來ルト到底折合ガ付カヌ、ソレデ今日最早ハ一決斷ニ付スルノ外ハナイ
ト私ハ考ヘマス、平タク私ガ御話ヲスルノデ包ミ隠シモ何モナイ如何ナル手
段方法ヲ執ツテモ再ヒ談判ヲ開イテヤル趣向ト云フモノハナイ

○子爵曾我祐準君 彼等ニ直接關係スル訴訟トカ何トカ云フ實際彼等ガ日本
ニ居ッテ關係スルヤウナ所ダケ特別法ニシテ出スト云フコトハ出來ナイノデ
アリマスカ

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) ソレハ極ク公平論デ云フタラサウ云フコトモ
出來マセウ外國ト交際ナドニハ幾ラカ口實ニ依ルモノデコチラデモ幾ラカヤ
ルノデアルカラサウ云フコトデ之ヲ取消スト云フコトハ出來ナイ

○子爵曾我祐準君 事柄ノ善シ惡シヲ論スルノデハナイ

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 今ソレヲ絕對的ニ之ヲ皆行フト云フコトヲ包
含シテ向フニ約束シテアルカラ私ハ必ラズシモ折合ハ又國ガナイトハ言ヘナ
イ、折合フ國モ幾ツモアルダラウト思フ、併シタツタ一ツ折合ナクテモイカ
ヌコトニナル、コッチニ於テ取扱上ドウシテモ困ル、ナゼカト云フト或ル國
ハ治外法權ヲ殘シテ置キ或ル國ハ治外法權ヲ撤却スルト云フコトハ實際上出
來ナイコトデアアル一齊ニ行ハナクテハナラヌト云フ爲ニ甚ダ至難ナコトニ陷
リマス、故ニ此談判ヲ開始シマスレバモウ今マデノ狀況デ安ンズルト斯ウ云
フ決心ヲ付ケナケレバドウシテモ持出サレヌ、是ニ付テノ異論ヲ言フ所モ大
概私ハ見テ居ル、ソレデ實ハ此編纂ノコトニ就テハ御尤ナ譯デアナタ方ガツ
レ程心配ナサルト云フコトハ無理カラヌコト、思フガ併ナカラ斯ウ云フ法典
ニナツテ來ルトドコノ議會デモ連テモ逐條議デヤツテ居ルト云フコトデハ到
底出來ナイ、故ニ修正委員トカ何トカ云フ者、其專門ノ者ヲ集メテ、ヤラシ
テサウシテマア大體議デ行クカ行カヌカト云フコトノ外ハ本統ニ之ヲ兩院當
リ前ニ議定スルト云フコトハ到底イカヌ、丁度委員會ノ經過シタダケノコト
ヲ倍シテ二ツヤラナケレバイカヌ位ノモノダカラ此議事ノ精粗ハ先ヅ仕方ガ
ナカラウ

○子爵曾我祐準君 ソレハ私共モ之ヲ逐條會議ニシテ此活潑ノモノヲ兩院通
過ヲシテ始メテ完全ナモノニナラウトハ毛頭信シマセヌ、併ナガラ是ガ世間
ニ現レタノガ如何ニモ急デアツテ、是ガ世間ヘ出テ一年ナリ一年半ナリ論シ
テ見タラバ色々興典ヲ見テ、又之ヲ償フニ足ル、延スト云フノハ議場デ半
年延シタツテ之ヲ逐條會議ヲシタツテ三百人ノ頭ニ入ルコトハムツカシイ、
私共ノ頭ニ這入ラヌ、世間ニ此事ガ公ケニナツタラバ世間ノ學者、此事ニ
當ッタ者ノ輿論ト云フモノガ適當ナ所ヘ定ラウ、斯様ニ信シテ延スト云フコ
トガ……

○久保田讓君 段々總理大臣カラ打明ケタ御話ガアリマシテ餘程能ク分リマ
シタ、私ナドモサウ云フ事情デアラウト云フコトハ段々御察シ申シテ居ルノ
デス、併ナガラ又近頃ソレハヤカマシクナツタカ存シマセヌガ兎ニ角此民法
ト云フモノガ國ノ歴史習慣風俗ナドニ非常ナ關係ヲ持ツコトデアアル、又教育

ナドノ上ニモ關係ノアルコトデアルト云フヤウナ方カラ論シマス随分大キナ問題デ、大キナ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ私モ又打明ケテ申上ゲマスガドウモ政府ノ御政略トシテモ餘程損デハナイカ、ト云フノハサウ云フ國民一般ノ大キナ重要ナル問題デアッテ或ハ一方カラ言ヘバ吾々ノ風俗習慣ト云フモノヲ變ヘル、此法律デ社會ヲ改造サレテ想像スル者ガアル、又教育ノアル主義ヲ持ッテ居ル人ハ斯ウ云フ西洋主義ヲ持ッテ來テ日本ノ固有ノ主義ハ何處カヘ持ッテ行カレテ或ハ教育ノ爲ニ賜ハッテアル所ノ勅語ノ精神ニ背キハシナイカト云フコトニ極論スル者ガアル大キク論ズレバ非常ニ大キク論ゼラレル問題デアリマス、ソレデアリマスカラ今ノ外國ニ段々是マデ御骨折ニナッテ長イ間種々難多ノ御苦心ニ依ッテ是マデ成立シタト云フコトハ千萬御察シ申シテ居ル、此上今ノ政府カラ何ノ面目ガアッテ再ビ是ダケヲ取除クト云フコトハ言ヘヌト云フ御話モ御尤モデアラウト思フ、ソコデ先刻モ御話ガゴザイマシタ通り日本モヤカマシイガ西洋ノ議院ナドハ中々ヤカマシイ、且ツ權力ヲ持ッテ居ルト云フコトデアリマスカラ此事ハ政府デハ實行スル積リデ議案ヲ議院ニ提出ヲシタ所ガ議院デ餘程議論ガアリ又國中ニモ色々風俗習慣等ニ關スルコトノ議論ガ起ッテ已ムヲ得ズ政府ガ是マデ骨ヲ折ッテヤル積リデアッタケレドモ、議院ノ意見ガアッテ已ムヲ得ズ之ヲ延サナケレバナラヌ、取除クトコトニナッタカラ暫ク是ハ取除ケテ貰ヒタイト云フヤウナコトノ御談判ニナル都合ニハナリマセヌカ、サウナリマシタナラバ幾ラカ生面ヲ開イテ此談ノ道ヲ開クトガアリハシナイカ、サウ云フヤウナ御考ハゴザイマセヌカ

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 外交上ニ於テハ唯今申シタノハ壞太利ノ議會ノコトヲ御話シタガツレハ内輪話ノコトデアアル、内ノ議論ガヤカマシイカラト云フコトハ結局ノ論ニハイカヌ、ツレハ即チ國家ナルモノヲ代表シテ物ヲ言フノデアアルカラ内ノヤカマシイノモ何モ一ツノ風呂敷ニ包ンダ以上ノ結局デアアルカラ中ヲ開ケテ見タラバ或ハ議會ガヤカマシイコトカ議員ガヤカマシイトカ云フコトモアリマセウケレドモ其事情ヲ酌量スルトセザルトハ向フニアル、サウ云フ譯デゴザルカラ誠ニ御氣ノ毒ノ次第デゴザルガ私ノ方ハ御同意ガ出來マセヌト云ヘバソレマデニナル、私ガ總理大臣ヲ奉職シテ居ルカラドウ斯ウト云フ譯デハナイ、日本政府ナルモノガ抑、此開國ノ主義ヲ取ッテ封建マデ廢シテサウシテ御一新ト云フコトヲヤッテ來タ時ノ方針ノ定メ方ニ皆附帶シテ今日マデ歩ミ來ッタノデアアルカラソレデ中ニハ勿論マダ其日モ淺イコトデアアル、縱シ其日ガ百年經過シテモ不承知ナ人間モアルデアラウ、況ンヤマダ日モ淺イコトデアアルカラ今日西洋ジミタ臭イコトハイヤダト云フ議論ガアルベキコト、私ハ察セラレルノデアリマス、併ナガラ是ハ如何様ニ歴史上ニ詮索シテ見テモドウモ神武天皇創業以來憲法制度ナド、云フヤウナコトモ歴史ニハナイノデ皆サウ云フヤウナ大ナル所カラ割出シテ此御一新ノ規模ト云フモノガ割出シテ來ラレテ居ル、國家ノ利益ノ爲ニハ少々ナ不便ナコトモヤ

ッテ行クト云フ仕掛デヤッテ來タガ併シ私ハ其時ノ天皇ノ思召モ又之ヲ翼賛シタ人達ノ考モ私ハ誤ッテ居ルトドウシテモ見ルコトガ出來ナイ、ツレ以來日本ノ國家ノ形狀ト其以前ノ形狀トヲ比較シテ見タナラバ其結果ハ雲泥ノ違ヒデアルト思フ、ツレデ一人一人ノ利害ニ付テ論ジタリ一人一人ノ見識ニ付テ論ズレバ政府ノ爲スコトニ於テハ勿論不満足ノコトモ澤山アルデアラウケレドモ大體ノ方針ト云フモノヲ引操返シテ云フコトハ到底私ハムヅカシイコトデアラウ、ツレデ今久保田君ノ御話ノヤウニ何分議會ガムヅカシイト云フカラト云フコトハ言フテ言ヘヌコトハナカラウガ結果ガ私ニハ見エテ居ル、ツレヲ言出スニハ條約改正ノコトヲ止メルト云フ覺悟ヲシナケレバナラヌ、ドウシテモ國ノ位置ト云フモノヲ外國カラ見タ時ハ餘程進メタ所ノ考デ見テ居ルノデアアル、コッチモ又自ラ進メタ考デ要求シテ今日マデ來ッテ居ルカラツレデ是ガ國家ノ上ニ就テ非常ナル安危ニデモ關係スルト云フヤウナコトデアッタナラバ方針モ變ヘサセナケレバナラヌト云フコトモナイト保證ハ出來マセヌガ今日マデ所デ上下共ニ之ヲ是認シテ來タ方ガ多イノデアリマスカラ其關係其狀況ヨリシテ外國政府ニモ要求シテ今日ニ來テ正ニ實行ヲスル時デアアルモノデスカラ其事ヲモ言フテ條約ノ締結ニナッテ居ルコトデアアル、ツレヲ言出セバ到底或ハ折合ヒ或ハ折合ハヌト云フヤウナ結果ニナレバ行フトガ出來ナイト云フ斷念ヲシナケレバナラヌ、ツレデ初リカラ之ヲ取除イテアッタラバ別問題デアアルガ初リカラ取除イテハナカッタモンダカラ初リカラ之ヲ取除カヌト云フコトニ條約改正ノ談判ヲシテズット來タノデ之ヲ俄ニ取除クト云フコトニナルト斷ハラレテモ仕方ガナイト云フコトガ私ニハ明ニ見ヘテ居ル積デアリマス、願クハドウカ可決ニナラムコトヲ只管諸君ニ懇願奉ル

○委員長(侯爵黑田長成君) モウ時刻ニナリマスカラ暫ク休憩致シマス

午後零時三十二分休憩

午後二時三十分開會

○委員長(侯爵黑田長成君) ツレデハ是カラ繼續シマス

○久保田君 我ハ一言致シタウゴザイマス、私ノ此民法ヲ調査スル考ハ先刻モチヨット申上ゲマシタガ、逆モ此大部ノ民法竝ニ民法附帶ノ諸法案ヲ縱令一週間ヲ延バシテモ其期限内ニ十分分ルダケ素讀ヲ致スノモ私ノ腦力デハムヅカシイ且ツ斯ノ如キ議案ヲコソデ審査ヲ致シテ見マスルニハ何レニ致シマシテモ極細目ニ涉ッテ調査ヲ致スト云フコトハムヅカシイコトデアリマス、ツレデ此度ハ日限モ少ナイコトデゴザイマスカラドウカ大體ニ付イテ之レヲ斷行スルトカ或ハ延ベルトカ或ハドウ致ストカ云フ極大體ニ付イテ大方針ガ立チマシテ愈々何時マデ掛ッタル細目ヲ調ベルトカ、ツレデ若シ私ト同様ノ御考ノ御方ガアリマシテ細目ニ涉ッテ調ベルニハ及バヌト云フコトニ極リマスレバ今日折角此時日ヲ費シマシテ政府委員ヲ煩ハシテ調査ヲ致ス事柄モ或

ハ無用ニナルヤウナコトモアラウト思ヒマスカラ私ノ一存デハドウカ大體ノコトデ此案ヲ如何ニスルヤ極メテツレカラ後ニ細目ニ涉ッテ質問ナリ調査ナリ何ナリ致シタイト考ヘマス、之ヲ建議イタシマス

○村田保君 私モ略々同シヤウナ考デ實ハ私カラ建議シタイト思ッテ居リマシタ位デ、之ヲ一々コ、デ質問致シテハナカナカ質問ノミデモ容易デナイ、又二讀會ニ移ッテヤル、サウ云フコトデアルト際限ガナイ、ツレデ甚ダ何デスケレドモ今日之レヲナカナカ容易ニ私ハイザリ立タラ一箇條修正シテモ諸方ニ響キマスカラドウゾ是ハ今久保田君ガ言ハレタ通り大體ニ付イテ御決議ニナッテサウシテ大體是デ宜イナラ宜イトドウゾ唯今ノヤウナ細カイ各條ニ付イテ質問致ス手數ヲ止メテ所謂あんぶろつくデ全體ニ付イテ御決議ニナラムコトヲ希望イタシマス

○加藤弘之君 久保田君ハドウ云フノデス、少シ分リマセヌガ……
○久保田讓君 私ノハ如何ニシテ此案ヲ調査スルカト云フコトヲ先ツ以テ極メテツレカラ調査ニ掛リタイノデ私一人ノ考デハ極大體ノコトニ付イテ極メタイ、此コトハ大體ト云フ内ニモ色々アリマスガ私共ハ先刻申述ベタヤウナ條約改正ノコトモアリマスシ總テ大體ニ付イテノコトデアリマス

○加藤弘之君 マダ少シ分リマセヌコ、ツレデアナタノ……
○久保田讓君 今私ノ議ヲ申シマス時間ガ掛リマスシ又ツレガ無益ニナラウト思ヒマスカラ兎ニ角大體ノコトドウトカ云フコトニナラヌト……
○加藤弘之君 大體ト云フノハ今村田君ノヤウナ説デスカ……
○久保田讓君 サウデ同ジコトデアリマス

○加藤弘之君 ドウゾ逐條ノ質問ハ止メテ……
○村田保君 大體ニ付イテ此案ガ善イカ惡イカ、一々質問ナドヲヤッテハ實ニ困ル

○子爵曾我祐準君 第一讀會ノ大體……
○村田保君 此案ヲ愈々通ストナツタラ一々細カイコトハ止メルヤウニシナケレバ際限ガナイ

○加藤弘之君 ツレカラ村田サンノハ是ヲ第一讀會ノヤウナ鹽梅ニ極メル……
○村田保君 全體ニ付イテ是認スルカドウカあんぶろつくデヤラウト云フノデス

○加藤弘之君 ツレデ濟マシテ仕舞フ……
○久保田讓君 善イトカ惡イト云フ可否ヲ決スルコトニシテ或ハ調査ノ方法ハドウシテ調査スルカ、ツレデ大體ニ付イテ色々御考ヘガアリマセウ、必ズシモ今是ヲ直グニ止メルト云フコトハ……

○子爵松平乘承君 私ハ少シ久保田君ノ御考ヲ伺ヒマスガ此質問ヲ止メテ大體ニ付イテ可否ヲ決スルコト云フコトニスルカ、或ハドウスルカ、ツレヲ先決問題トシタガ宜イ、其上久保田君ガ御意見ヲ御出シニナルト云フノデスカ

○久保田讓君 サウデス

○男爵尾崎三良君 私モ大體大同小異ノ御論デアリマス、ドウモ是位活潑ノ物ヲコ、デ審議シテ取捨折衷スルナドト云フコトハ到底短日月ノ間ニ出來ルモノデハナカラウ、ツレデ實ハ論ジテ行ケバ色々箇條ニ付イテ多少銘々意見ガ異ナルコトデアリマセウケレドモ何分彼ノ國家重要ナル條約ニ付イテハ是非ハ此開期中通サナケレバナラヌト云フ話デアレバモウ此委員會デハ大體可ナリト極メルカ或ハドウシテモ是ハ縱令如何様ナコトガアラウトモ此儘デ通シテハナラヌト云フ程ノ大事ガアレバ又ツレハ格別ノ話ト云フコトニシテ大概ナラモウ已ムヲ得ズ大體是デ善イト云フコトガ極ツタナラバツレデ其方針デモウサウ細カイ質問ハ止メテ御決シニナルヤウニシタラ宜カラウト思ヒマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 久保田君村田君アタリカラ大體ニ就イテヤルヤウニシテ深ク審議スル必要ハアルノデアラウガ或ハ此際斷行スベキモノデアルカ否ヤト云フコトニ付イテノ大體ノ御評議ヲナスツテハドウカト云フ建議デアリマスガ成程其事カラ先キニ極メテ參ツタ方ガ抄取りガ宜シカラウト思ヒマス、別段御異議ガナケレバサウ云フコトニ……

○男爵小澤武雄君 チョット申シテ置キマスガ大體ニ付イテ大體善イトナツタトキニ又論カ何カ起ルノデハナイカト思ハレデスカ始メ是ヲ例ヘバ三讀會ノ通りニシテ二讀會ニ移スヤ否ヤト云フ方ノ決ヲ御採リニナルナラ何ンデスカレドモ大體議ダケデアラウト云フデモ其ヤリ方デ各々違フダラウト思ヒマスカラ決シヤウガナカラウト思ヒマス如何デゴザイマス

○久保田讓君 私ノ考デハ大體ノ質問ガアレバツレデモ宜イガ私ガ先刻總理大臣ニ御尋ネヲシタノハ實ハマダ私ノ考テ言ヘバ大體ニ付イテマダ餘程條約ノ關係ナドガアル其他大體ニ付テ承ハリタイコトモアル他ノ御方モ色々アリマセウカラ兎ニ角大體ニ付テ色々御考ヲ起シタ御方モゴザイマセウカラ細目ニ涉ラズシテ大體ニ付テ議論スルコトガ幾ラモアラウト思ヒマス

○子爵鍋島直彬君 久保田君ニ御尋ネシマスガ大體之ヲ惡イトカ善イトカ云フコトヲ先ニシテ逐條ニスルコトハ到底イカヌト云フ様ナ御説デアツタヤウニ思ヒマスガ久保田君ノ御考ハ大體ノ可否トカ或ハ之ヲ斷行スルコトカ或ハ之ヲ細カニ調べテヤラウトカ云フ大體ニ付テ質問トカ意見トカガアレバ初カラ二ツノ問題ヲ設ケズシテ銘々大體上ノ意見ヲ述ベタラ宜イデハナイカト云フ御説ノヤウデスガサウデスカ

○久保田讓君 サウデス、大體ノコトニ付テ質問シタイコトモアルシ二三日家ニ持ッテ歸ッテ考ヘテカラ此處デ決シタ方ガ宜イト云フ人モアリマセウ、兎ニ角諸君ニ色々御考ガアリマセウカラ先ヅ大體ニ付テヤルコトガ極ツタラツレカラ色々ノコトガアラウト思ヒマス

○村田保君 先ヅ此案ガ宜シイカ惡イカト云フコトヲ先キニ御極メニナツタラ宜カラウト思ヒマス

○三浦安君 案ニ付イテノ可否論ニナイト思フ、大體之ヲ否トシ是トスルノ
說ハナイト思ヒマス

○加藤弘之君 今ノドウモハキリシナイデ困リマス、先刻久保田君ガ總理
大臣ニ質問ガアリ總理大臣ノ演說モアツテ私モ考ヘテ見ルト殆ド同シコトデ
アツテ此修正案ハ前ノ既成法典カラ見テ餘程長クナッタデアラウト云フコト
ハ大抵考ガ私ナドハ付イテ居ル、併ナガラ唯チヨット見タバカリデハ到底分ラ
ヌ、少シ位質問ヲシテ見タ所ガドウモ分ラヌ、決シテ之ヲ極ク保守主義ノ人ノ
言フヤウニムヤミニ西洋流ニシタモノトハ私ハ考ヘナイ、今マデ讀ンダ所ヤ
質問ヲシタ所デソシニ思フ所ハナイ、親族篇相續篇ハ既成カラ見タ餘程
長クナッタ居ルダラウト思フノデスカラ之ヲ廢シヤウナドト云フ考ハ少シモ
ナイ、能ク聞イテ見タラ悉ク感服スルヤウニアラウト思ヒマスガ何シロ日ガ
ナイノデ參考書ト引合セテ讀ムコトモ中ニ出來ナイコトデアリマスカラ已ム
ヲ得ズ唯官判ト云フコトニナル、總理大臣ハ押サセル譯ニハイカヌト云フコ
トデアツタガ詰リ官判ヲ押サナケレバナラヌ、ケレドモ是ハ外ノ法律ト違フ
テ餘程重要ノ法律デ民法ノ外ノ部分ヨリモト大切ノモノデアアル、サウシテ見
ルト外國人ニ關係ハ少イニ違ヒナイ之ヲ總理大臣ハ大變外國人ニ關係ガアラ
ウト思ハナイケレドモ總テ斯ウ云フモノヲ包含シテ法典ヲ實施シテ一年立
タネバ改正セヌト云フコトデアアルカラ今更之ヲ已メル譯ニハイカヌト云フコ
トデアアル、尤モ向フデ困リハシナイ困マルノハコチラデ困ル、併ナガラドウ
モ議院デ唯急グ爲ニ官判ヲ押シタト云フコトハドウシテモ良心ニモ反スル譯
デアラウト思フ、サウシテ見ルト已ムヲ得ヌコトデアアルケレドモ半年位此次
ノ冬ノ議會デ極メルト云フコトニシテソレマデノ所ハ繼續委員ヲ置イテ委員
ガ繼續シテサウシテモウ少シ調ベルト云フコトニシタラ餘程綿密ナコトニ
行クダラウト思ヒマス、サウヤツテ見タ所ガ悉ク調査會ノ御說ニ感服スルノ
ミデ少シモ修正スル所ハナイカモ知レナイ、其方ガ却ッテ近カラウト思フ、ヒ
ドク修正シナケレバナラヌト思フ箇條ハ私ノ考ヘル所デハナカラウト思フケ
レドモ本統ニ調ベナケレバ必ズサウト云フコトハ言ハレナイ、委員タル者ノ
組立ガ出來タ以上ハ少シハ考ヘル時ガナケレバナラヌ、サウスレバ條約改正
ハ半年延ビル位ノコトデアアツテ差支ルコトハナカラウト思ヒマスカラドウモ
ムツカシイコトハ繼續委員ニ付スルト云フ規則ガアルカラサウ云フコトニ
ナッタラドウカト私ハ先刻カラ考ヘテ居リマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 私ハ一己ノ見込ヲ申上ゲマス先刻カラ久保田君
村田君初メ大體ヲ極メテハドウカト云フ……少シハ御說ハ違ヒマスケレドモ
大體ノ事ヲ議シテハドウカト云フヤウナ御議論デゴザイマスカラ私モ至極ソ
レガ宜カラウト思フ、ドウモ方針ガ能ク極リマセヌト先キノ運ビ方ニ餘程關
係ガアラウト思ヒマス、會期ハ餘程切迫致シテ居リマスシ、若シ之ヲ此會期ノ
中ニ可決スルト云フコトニナル場合カラ考ヘテ見ルト餘程急ガネバナラヌ事
情ガアルカト思フ、ソレデ此際逐條ノ質問ヲ中止シマシテ大體此案ヲ假リニ

否決スル考ノ御方ガ多イト見レバ其結果ガ又色々ニナラウト思フ、又大體之
ヲ可トシテ此會期中ニドウシテ通サナケレバナラヌト云フ御考ヘノ方ガ多數
デアレバサウ云フ風ニ是カラ先キノ調ベ方ノ運ビモアラウト思ヒマス、ソ
レデ先刻申上ゲタ次第デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 今ノ委員長ノ御考ハ御適當ノ御考ダト思ヒマス、唯今仰
セラレマシタガ通過サセルト云フコトナラ通過シ能フダケノ法ヲ取ラヌト通
過セウトシテモ到底出來ヌヤウニナルカラ是ハ已ムヲ得ヌ、先ヅ繼續委員ノ
御議論モゴザイマシタガ繼續委員ニナルナラバ繼續委員デ宜シイ、ナラヌナ
ラナラヌデ……ドツチカニ極ラヌトドツチモ通ラヌコトニナル、是ハ時ニ取ッ
テ已ムヲ得ヌ便法ダラウト思フ、普通ノ規則トハ違ヒマシテ大體之ニ就テノ
御議論ガ先ニナルコトヲ希望致シマス

○男爵尾崎三良君 丁度委員長ノ御說ノ如クドウシテモ此今期ハ時日ノ切迫
スルニモ拘ラズ今日ノ場合は非之ヲ通スノガ國ノ爲メデアルト云フ御考ノ御
方ト又サウデハナク今ノ加藤サンノ御說ノ如クシヤウト云フ御人モアリマセ
ウ、ソコヲ一ツ御決メニナツテ宜カラウト思ヒマス

○村田保君 ソレヲ速ニ起立ニ御尋ヲ願タウゴザイマス

○委員長(侯爵黒田長成君) ドウゾ大體ニ付テ是カラ議シマスカラ御說ガゴ
ザイマスレバ御銘々ニ御述ベニナルヤウニ……

○子爵曾我祐準君 ソレデ大體議デ是ヲ議スルト云フコトニ極マルガ茲デ加
藤サンガ此際繼續委員ノ御說ヲ御出シナサルナラ贊成ヲシマスガ……大體議
ニナラヌ前ニ御出シナスツタカラ今ノハ問題ニナツテ居ラヌト思ヒマス、改
メテ提出ニナリマシタナラバ……

○加藤弘之君 久保田君ヤ村田君ノハ能ク分ラヌカラ、ソレダケノコトヲ
……

○子爵曾我祐準君 ソレデ繼續委員說ヲ御出シナスツタンデスネ

○加藤弘之君 前ニ申シタ通り……

○子爵曾我祐準君 私ハ贊成ヲ致シマス、贊成スルニ就テ理由ヲ述ベマス、
先刻ヨリ折節申シマシタガ、諸君モ疾ク御承知ノコトデアリマシテ先刻總理
大臣ノ御臨席ニナツタ時モ申シマシタガ勿論之ヲ議場ニ掛ケマシタ所ガ逐條
審議ヲスルト云フコトハ出來マセズ、如何セン民法ト云フモノガ世間ニ現ハ
レタコトガ新ラシクアル、此修正ノ分ハ甚ダ新ラシイ、ソレ故ニ世間ノ輿論ト
云フモノモ未ダ十分ニ出來テ居ラナイ斯ノ如クシテ委員ヲ通過シテ如何ナル
手順ヲ以テ通過スルヤト云フト實際時日ガ許サヌタメニ質問スラ遂ゲナイト
云フノデアアル、又吾々ノ愚ナル此法案ヲ俄カニ與ヘラレテ質問ヲスルノニ定
メテ政府委員モ御迷惑デゴザイマセウ、法律ノ頭ガナイ者ガ斯ウ云フムヅカ
シイモノヲ質問スルノデアアルカラ御迷惑デアラウ、サリナガラ委員トシテハ
斯ノ如キ法案ハ最モ委員ノ調査ハ必要ナルコト、信ズル何トナレバ吾々ノ委
員デスラ大要ダモ伺ヒ切ラヌモノガ之ヲ本議場ニ出シタ時ハ是ハ愈々官判ヲ

シナケレバオラス、官判ヲサセルニハ委員ガ調査シテ是ハ可ナリ是ハ否ナリト云フ其委員ニ信用ヲ置イテ三百人ト云フモノハ立ツナリ立タナイナリ決シナケレバナラス、シテ見レバ委員ノ責任ハ重モイモノデアル、此委員ガ質問ヲスル邊モナクシテ之ヲ通スト云フノハ實ニ委員タル者ノ職掌ガ盡サレヌノデアリマス、ソレ故ニ實ハ私ハ度々此案ニ付テハ委員ヲ辭スルコトヲ考ヘテ辭スル言葉モ拵ヘテ見マシタガ委員ノ規則トシテ委員ヲ辭スルコトヲ得ズ、理由ナクテハ辭スルコトヲ得ズト云フノデ其理由ヲ考ヘマシタガ當然ノ理由トシテ議場ヘ容レラルベキ理由ハ見出シマセヌ、故ニ餘儀ナク委員ヲ致シテ居リマス、シテ見レバドウシテモ議場ニ向ッテハ斯ノ如キ議案ハ委員ガ責任ヲ以テ宜イトカ惡イトカ言ハナケレバナラス、ケレドモ可否ヲ決スルコトハ實際極リマセヌ、加藤サンノ言フ如ク是マデノ慣習ヨリモ良イ條件デアラウト云フコトハ見出シマセヌ、私ハ儒教デ育ッタ人間デアアルカラ儒教ノ範圍ヲ出ルコトハ出來マセヌ、儒教ノ範圍カラ見ルト父子或ハ夫婦ノ間ノ如キニ至リマシテハ如何ニモ意外千萬ダト思フコトガアリマス、サリナガラ是モ能ク承リ能ク調査シテ見マシタナラバ時ニ取ッテハ是ガ至極宜イコトカモ知レマセヌ、併ナガラ儒教デ固ッタ頭ニハ餘程能ク考ヘナイトイケナイ、如何セン考ヘル時機ガナイ、況ンヤ此法案ハ段々多クナッテ來マシタカラ一週間位ノ延期デ調査ガ出來ルモノデハゴザイマセヌ、私一己ノ自由ヲ申セバ委員ヲ辭スルコトガ出來レバ心ニ耻ヂマセヌデ快フゴザイマスガ何分辭スル理由ヲ見出シマセヌカラ餘儀ナク委員ニ出席致シテ居ル其以上ハ可トカ否トカ云フ意見ヲ議場ニ報告スル一人ニ加ハラナケレバナラス、ソレハ實ニ心ニ恥ヂル、苦シイノデアリマス、責任ヲ盡スコトハ出來マセヌ、是ハ誰ガ惡イノデモナイ、先刻總理大臣モ言ハレタ通り斯ノ如ク運命ガ惡クシテ前議會ニ提出スルコトガ出來ズ、天運斯ノ如ク然ラシメタカ知レマセヌガ委員ノ一人トシテハ何分私ハ之ヲ可トカ否トカ言フコトハ責任ヲ以テ委員ノ一人トシテ心ニ耻ヂテ出來マセヌ、ソレ故ニ委員ヲ辭スルガ一番ノ望ミデアリマスルガ辭スルコトガ出來マセヌ以上ハ加藤君ノ繼續說ニ賛成スル外決スルコトハ出來マセヌ、若シ繼續委員ト云フコトニナレバ先刻總理大臣モ言ハレタ通り餘儀ナク條約改正ハ延ビマセウ、經濟上日本ニ不利益ヲ與ヘマス、不利益ヲ與ヘマスコトハ甚ダ好マヌコトデアル、殊ニ今日日本ノ經濟ノ窮乏シテ居ル時分ニ半箇年ノ海關稅ノ少ナク取レルコトヲ好マヌコトデアリマスレドモ比較的餘儀ナク其位ノコトニハ代ヘラレマセヌ故半箇年位ハ遲レテモ致シ方ガナイ、依ッテ斷然加藤君ノ繼續委員說ニ私ハ賛成ヲ致スノデアリマス

○村田保君 私ハドウモ今日本院議員タル者ハ此民法ヲ延バシテ或ハ此冬マデ延バスト云フヤウナコトハ本來私ハ言ヘヌ譯デハナイカト信ジテ居ル、ソレハドウ云フ譯デゴザイマスカト云フト抑、此修正ノ起リマシタ時ハドウデアリマシタ、即チ二十五年ニ民法商法ヲ延期シマシテ其延期ト申スモノハ即チ修正ヲ行ハムタメノ延期デアル、其時分ハ私ハ即チ提出者ニナリマシテ

アレヲ出シマシタノデアリマス、其時分ノ理由ト申シマスモノハ此民法ト云フモノハ明治二十九年ノ十二月三十一日マデニ必ズ修正ヲシテ出ス、五箇年ノ間ノ猶豫ヲ與ヘレバ五箇年ノ間ニハ必ズ修正ヲシテ出スト云フガ其時分ノ意見デアッタ、隨分各議員カラ質問モゴザイマシタ若シ萬一其修正ガ出來ヌダッタラドウダ、修正ガ出來ヌ時ハ仕方ガナイカラ即チ其時分ノ所謂舊民法ヲ其儘施行スル、現行法ヲ斷行スル、アレハ約束デ成立ッテ居ルモノデアリマスカラ其時分ハドコマデモ三十年カラハ必ズ民法ヲ行フト云フ趣意デアッタ、ソレカラ致シテ政府デモ其後民法商法施行取調委員ト云フモノヲ設ケテソレカラ唯今マデゴザイマスル法典調查會ト云フモノヲ設ケテソレカ爲ニハ貴衆兩院カラモ段々人ヲ出シ其他大學ノ法學博士等法律ニ精シイ人ヲ合ハセテサウシテ二十六年カラ修正ニ掛ッタモノデアアル、ソレデゴザイマスカラシテ、ソレモ此人事篇ナド、申シマスルモノハ其以前ニモ出來テ居リマシタモノハ多ク日本ノ今日ノ慣習ト云フモノヲ取リマシタ、併ナガラ慣習モ甚シク今日ノ時勢ニ適セヌモノハ仕方ガナイガ今日マデアリマスル慣習ト云フモノハ殘ラズ之ヲ採用シテサウシテ之ヲ組立ッタモノデアアル、ソレデゴザイマスカラ此上私共ノ目ニハ之ニ修正ヲ加フルト云フコトハ殆ド無益ノモノデハナイカト思フ

○子爵曾我祐準君 チョット御中言デスガ、私ハ修正ノ意見ガアッテ申スノデハナイ

○村田保君 冬マデ繼續シタカラトテ宜イト云フ譯ニハイカヌ、又繼續スルト其上又ヤラウト云フ論ガ必ズ起ルノデ私ノ考デハ無益ノコトデハナイカト思フ、ソレデ成程曾我子爵ノ仰シヤレルヤウニドウシテモ官判ハツケヌト仰シヤルケレドモ獨リ是バカリデハナイ、一口口ニ申セバ官判ヲツイテ居ラシヤルコトガ澤山アラウド思フ、既ニ此前ニ民法ガ出マスル時分即チ今日行ハレテ居ルアノ浩翰ナル民法ヲ出シタ時ノ有様ハドウデアアル實ニ曾我子爵ノ言ハレル所ノ全ク官判ヲツカレタニ相違ナイ

(子爵曾我祐準君「何年デス」ト述フ)

一昨々年、本院ニ修正ニナッテ出マシタ今日行ハレテ居ルコノ民法デス、矢張コンナニ澤山出マシタアノ時分ノ會議モ實ニ官判デアアル、是程ノコトニモ至ラズニ官判デ通シ、議場ハドウデアッタカ實ニ全體デアレガ通ッテ居ルノデアリマスカラ決シテ今日始マッタ譯デハナイ既ニ前カラ民法ガソレデ通ッテ居ル既ニ先例ニ依ッテドウゾ……

○子爵曾我祐準君 村田サンノ御議論ハマルデ違ッテ居リマス、私モ此ノ如キモノニ信用ヲ置イテ通シマシタノデゴザイマス、私ノ先刻申ス通り私ガ委員デナイナラバ兎ニ角委員デアアルナラバ辭スルノガ私ハ一番快イト云フコトヲ三遍程繰返シテ申シタ、此邊ヲ御承知下スッタラソレハ他ノ法案デ官判ニ近イモノガアリマシタラウ、併シ是等ノモノハ金ノ上デハ千萬圓トカ何萬圓トカニナル、去リナガラ倫理道德ト云フコトトハ大ニ違ッテ居ル、今日便宜主義

ニ重キヲ金ニ置イテ倫理道德ニ輕キヲ置クト云フコトハ出來ヌ、私共ハ倫理道德ハ金ヨリ重キモノデアルト固ク信シテ居ル、ソレ故ニ私ハ此論ヲ提出シマス

○三浦安君 段々御論が出マシタガ、成程急迫ノ際にはホドノモノヲ議スルノハ無理ナコトデアアルガ全ク遅クナツタト云フノハ前ノ議會ニ於テ延期說ガ通過シマシテ十分此際ニハ惡イ所ガアルニ依ッテ修正ヲ致スト云フ所カラ起ツタノデアアル、成程急迫ノ際悉ク御目ヲ御通シニナルコトハ出來マスマイガ大體ハ御覽ニナツタコト、思ヒマス、スレバ盲判トシテハ委員ガ濟マヌコト、思フガ、諸君ガ御一讀ナスツタラバ盲判デハナイ、之ヲ詳密ニスルカ大略ニスルカノ別デアッテ唯條約改正實行ガ近ク法權ヲ回復スルト云フコトニ至ッテハ已ムヲ得ヌ成行カラ斯ウ云フコトニ至ッタノデアアルカラ今日ニ至ッテ速ニ之ヲ確定シテ各國ニ對シテ治外法權ノ斷甲斐ナキモノヲ回復スルコトハ重イコトデゴザイマス、此主意ヲ以テ盲判デナク大體御覽ニナツタ所デ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵尾崎三良君 加藤君ナリ曾我子爵ナリノ御心配ノ段ハ如何ニモ御尤モデゴザイマスガ此位ノ浩澁ノモノヲ十分研究スル間モナク無理ニ議スルノハ無理ナ話デアアル、ソレ故ニ半年位モ立ッテ云フ御説ノ出ルノハ無理トハ思ハナイ、我々モ其地位ニ立ッタラ同シ論ヲ出スカモ知レマセヌガ私ハ幸何程カ研究シテ居ル故ニサウ御心配ニナル程ノヒドイコトハナイ、且又國家ノ大事ト比較シテ見レバ假令少々御不滿ナ所ガアツテモソレニ代ヘル程ノコトハナイト私ハ深ク信シテ居リマスガ是ハ此冬マデヤツタ所ガ矢張外ノ人ガ見レバ不滿ノ意味ト云フモノハ矢張免レナイ話ダラウト思ヒマス、爰ハ一ツソレ故ニ先刻斷行スルカセヌカト云フ二ツデ先ヅ論斷ヲシタラ宜カラウト云フ説ガ起ツタノデアリマス、ドウシテモ既ニ條約ノ期限ト云フモノガ一年ニ迫リ其約束ノ結果トシテ本年七月マデニ施行セシナラヌト云フコトニナツテ居ルコトカラ我々ノ考デハ此日本ノ國家ニ對シテハ非常ナ大事ナ事件ト思フ之ヲ犧牲ニシテマデ之ヲ詳密ニヤラニヤナラヌト云フ程ナコトモナカラウト思ヒマスルノデソコハ一ツドウゾ御辛抱ナシ下スツテ此議會ニハ是非是ダケハ議了シテ仕舞フト云フコトニ御覺悟アラムコトヲ希望致スノデアリマス、成程盲判ト云フト甚ダ良心ニ耻ヅル譯デアリマスルケレドモドウデ是位ノ浩澁ナモノデアリマスカラ研究シテ一々前後彼此參照シテ異論ノナイヤウニト云フコトハ專門ノ人ガ寄ッテ年月ヲ重ネネバナラヌコトデアリマス、シテ見レバ唯大體ニ於テ此ノ如キモノハ日本ノ今日ノ事情行フテ宜シイカ、又行ヘハ大變ナ先刻御話ニナツタ如ク倫理ヲ壞亂スルト云フ如キヒドイモノデアルト御考ニナルカ、二ツデアラウト思フ、大概先刻カラ加藤君カラ御述ベニナツタ如ク讀ンデ見レバ案外ナモノデ是ナラ左マデ差支モナカラウト云フ位ナモノデ随分歐羅巴ノ學者ノ眼カラ見ルト誠ニツマラヌ日本ノ慣習ガ遺シテアルト云フ様ナコトヲ向フカラ云フヤウナモノデアリマシテ随分力メテ慣習ハ存シテ

アルヤウニナツテ居リマス、ココノ所ハ詰リ斷ズルノハ之ガサウ云フ様ナ事情ガナケレバ半年位ハ延バシテモ宜シウゴザイマセウガ今ノ通り既ニ國交際ニ方ツテ我權利ヲ回復スルカセヌカト云フ問題ニ此案ガ繫ツテ居ルモノデスカラ其輕重ヲ較ベテ見レバドウシテモ少々研究ガ十分ニ積ナカツタト云フ位ノコトハ耐ヘテ御ヤリ下サルト云フコトニシタ方ガ國家ノ利益デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、ドウゾサウ云フコトニ大體ヲ御極ニナツテ其上又此内ノ或事件ニ付イテ是ダケハ斯ウシタイト云フ位ノコトハソレハ又……

○政府委員(穗積陳重君) 私ハ唯今大體論ノ可否ニ付イテ述ベル積リデハアリマセヌ、唯私共此方ニ關係シテ居リマシテ色々自分ガ氣ノ付イタコトヲチヨット御參考ニ申上ゲテ置キマス、明治二十三年此發布ニナリマシタ民法財産取得篇、人事篇、アレハ今年六月三十一日マデ施行延期ニナツテ居リマス、是ガ此儘デアリマスルトハ六月ノ末カラ法律ニナリマシテ、アレガ法律ニナリマシテハ實ニ大變ナコトデ木ニ竹ヲ繼イダヤウニ今マデノ法律ト重複ニナリマス、ソレデ若シ是ガ繼續委員會說ガ行ハレルト云フコトニナリマスト謂ハハ始末ヲ十分附ケナケレバナラヌコトデアリマス、ソレノ始末ガ附クデアラウカドウデアラウカ、是ハホシノ手續デアリマスガ私共ハ大變心配致シテ居ルノデアリマス、今カラ法案が出タトシテモ衆議院デハ是ヲ通シタノデアリマスカラ眞逆同議院デサウシテ今度ハ又此民法ヲ通サヌト云フコトノ案ニ同意スルヤ否ヤ萬一不幸ニシテ一院ガ是ヲ容レマセヌ時ニ於キマシテハモウ法ノ力デ來月カラ舊トノ人事篇ノ財産取得篇、相續篇ガ行ハレルコトニナル、是ハドウシタモノデアラウカ、是ハ私共ノ方ノ謂ハバ技術上カラノ事柄デアリマスルノデ其心配ヲ致シテ居リマスコトデ一言添エテ置キマス

○國務大臣(曾根荒助君) 私ハ時々此處ヘ出マスノデ議事ノ經過ノ模様ヲ能ク承知イタシマセヌガ今承ッテ見ルト繼續委員會デモ置カウカト云フヤウナコトニ承リマシタ、私ハ言葉ハ極簡單ニ申シマスガ、併シ極端ヲ申シマス、其事ノ論デゴザイマスルナラ今朝モ伊藤總理ガ申上ル通り結局マア極柔カナ言葉デ申シマスト當分新改正條約ハ實際セヌト云フ決心デアアル、斯ウ考ヘナケレバナラヌト斯様ニ考ヘマス、ソレハ實ニドウモ何トモ言ハレヌ日本ノ國ノ悲境ニ陷ルコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト云フコトデ申上ゲ様モナイコト、思ヒマス、彼此御參酌ニナリマシテ此場合ハドウゾ暫ラク御忍ビ下サレドウカ通過ノ方ニ御盡力下サイマシテ果シテドウモ惡イト云フコトガゴザイマスナラバ其後ニ或ハ多少ノ改正ヲ加エマセウトモ此際ハ是非トモ通過ニナラヌト云フト實ニ改正條約ガイカヌヤウニナルト總テ今朝伊藤總理ガ申ス通り經濟社會ノコトデアルトカ到底日本ガ獨立シテ仕事ヲヤツテ行クコトハ出來マイカト實ニ私ハ難儀ニ思ヒマス、其邊ハドウゾ御推察ヲ願ヒマス

○久保田讓君 私ハモウ少シ說ヲ述ベマス、其說ヲ述ベマス前ニ司法大臣ノ今ノ御話ニ付イテ實ハ今朝總理大臣カラ段々伺ヒマシタガ、モウ一步是カラ大事ナ所ヲ伺ヒタイト思フ内ニ委員長ガ休憩ヲ宣告サレマシタカラ遂ニ聽ク

コトガ出来マセヌデシタガ、唯今其條約改正ガ延期ニナレバ實ニ言フベカラザル我邦ガ悲境ニ陥ルト云フ御話デアリマシタガ私ノ考ヘマスニハ條約ガ三ヶ月ナリ六ヶ月ナリ施行ガ延期ニナルト云フバカリ決シテ條約ヲ廢棄スルト云フノデナイ、今ノ條約ハ何モ潰レルト云フノデハナイ、今日條約ハ矢張一年前ニ通知ヲシテ施行サレル、故ニ此通知ヲ七月ニ出サヌケレバ即チ其條約ノ實施ヲ致サナイト云フノデハナイ、ソレデソレカラシテ六ヶ月ナリ即チ十二月マデ一ツ調査ヲシテサウシテ法典ガ出タ上デ通知ヲ致セバ六ヶ月ノ後ニ條約ハ行ハレル、兎ニ角一ヶ年ノ後ニ實行スル條約デアルカラ條約其物ニハ少シモ傷ハ附カヌ、唯半ヶ年ナリ三ヶ月ナリ時ガ遅レルト云フダケデハナイカト存ズル、ソレカラ其經濟上ノ關係ト云フコトモ先刻會我君ガ申サレル通り一ヶ年六百萬圓或ハ千萬圓ノ損ガアラウ、千萬圓トシテ半ヶ年ナラ五百萬圓、六百萬圓トシテ半ヶ年ナラ三百萬圓ト云フコトダケト思ヒマスガ、尙ホ此外ニモット大イナル關係ガアレバドウゾ是ハ委員會ノ席デゴザイマスカラ御腹藏ナク御話ヲ願ヒタイ

○國務大臣(曾禰荒助君) 今ノ五千萬圓トカ六千萬圓ト云フ算ノ立ッテ居ル話ナラ見易イ話デスガ其金ノ方ノ御話デ各人日本人ガ今日ノ所カラ申シマスレバ例ヘバ株券ヲ賣リマスとか讓リマスとか云フコトハ皆現行條約デ抑ヘテ居リマス、法權デ抑ヘテゴザイマスカラサウ云フ譯ニハ參リマセヌ、唯政府カラ五千萬圓ナラ五千萬圓ト云フ公債ヲ賣却シマシテ……

(子爵曾我祐準君) 五千萬圓デハナイ、五百萬圓ハ海關稅ガ違フト云フノデト述ブ

○國務大臣(曾禰荒助君) 海關ノコトハ分ッテ居リマス、私ガ經濟上ト申スノハ即チ算盤ノ彈ケル所デ申スノデハナイ、實ニ算盤ノ彈ケナイ所ガアルコトデマア是ハ一日モ早ク經濟共通ノ途ヲ開カナケレバナラヌ、是ハドウカト云フト現行條約デ抑ヘテゴザイマス、御承知ノ通り其眼ニ見ユル金……經濟上ノコトヲ私ハ申スノデハナイ

○久保田讓君 全ク金ノ點カラ悲境ニ陥ルト云フノデスカ

○國務大臣(曾禰荒助君) 經濟上斯ノ如シト云フコトト、今一ツハ六ヶ月ナラ六ヶ月デ果シテ萬人ガ一樣ニ皆宜シウゴザルト云フ法律ガ出来ルト云フ御請合ハ誰モスルコトハ出来マスマイ、サウスルトアラコラアラコラノ内ニ端カラ難儀ナコトガアレバ十二年ノ條約ハ今朝總理モ申シマシタ通り本統ノ實ハ獨立國ガ立派ニ持ッテ居ル條約ハ出来ナイ、ソレヲ段々先サヘ延ベテ往ッテ御互ノ權力ガ發達セヌト云フコトハ實ニ難儀ナコトデアリマス、唯一ヶ月二ヶ月デ出来ダラウト云フ御考ヘデゴザイマスルト私ハ遂ニ蛇蜂取ラズニナラウト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 司法大臣ノ今ノ御話デゴザイマスガ……經濟ニ付イテノ御話デゴザイマスガ、外資輸入、是ハ別問題トシテ司法大臣ハ外國ノ金ヲ澤山入レルノガ便利ニナルト御思ヒデアリマセウガ、併ナガラ或一派ノ人ハ今日

外資ヲ澤山輸入スルノハ經濟ノ上ニ危ブナイト云フ人モアル、是ハ別問題デアリマスガ、縱令延ハシタト云フデ……此法案ガ延ビタト云フテ萬人ガ一人異議ノナイ法案ガ出来ヤウト云フコトハアルマイト言ハレマシタガ、ソレハ私共モ萬人ガ一人モ異議ナイ法律ヲ作ルガ爲メニシタイト云フノデハアリマセヌ、左リナガラ加藤君ノ論ニ賛成シタ理由ヲ再ビ茲ニ申シマスノハ必要ハナイ御聽キニナリタケレバ明日ノ速記録ヲ御覽下サイソレデ宜シイ、敢テ辯ジマセヌ、去リナガラ萬人ガ一人モ異議ナイ法律ヲ作ラウト云フコトハ誰モ信ジナイ、私共モ左様ナコトヲ決シテ言フノデゴザイマセヌ、私共ハ委員會ノ職掌トシテ質問ヲモ遂ゲナイモノヲ善イトカ惡イトカ云フコトノ贊否ヲ決スルノ理由ニ苦シムノデアリマス、委シイコトハ述ベマセヌ

○久保田讓君 我ハ少シ意見ヲ述ベタウゴザイマス、私ハ元來廢案ノ說ヲ實ハ持ッテ居ッタノデゴザイマス、ソレハ矢張民法ヲ今少シ修正ヲシ調査ヲスル時ヲ得ル爲メ又議院ノ調査ヲ致スバカリデナシニ世間デモ此法律ノ可否得失ヲ研究シ又實際上ノ利害ヲ研究致ス時間ヲ與フル爲メ延バシテサウシテ暫ク研究ヲシタラ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居リマシタ、唯今三浦君ソレカラ尾崎君村田君カラ色々御說モゴザイマシタガ此三君ハ此法典ノ審査委員デアリマシテ餘程長イ間御骨折デ御苦勞ニモナッテ居ルコトデアリマスカラ此三人ノ御眼カラ御覽ニナリマシタラ今之ガ分ラヌトカ大體善イトカ惡イトカ云フコトハナイ話デアルカモ知レマセヌ、能ク御研究ニナッテ御眼カラハ左様カモ知レマセヌ、併ナガラ我々ハ專門家デモナイ故之ヲ見テ直グニ可否ヲ決スルコトハ容易ニ決心ガ付カナイノデアアル、村田君アタリハ此爲二十年

モ二十年モ御掛リニナッテ居ルノデアアルガ我々ハ今度始メテ此案ニ接シタノデアアル、殊ニ此案ノ他ノ案トハ餘程違ッテ一國ノ歴史風土習慣又教育上ガラ申セバ倫理道德ト云フコトニ關係ヲ持ッテ居ルト云フ様ナ隨分重大ナ案デアアル、重大ト云フ方カラ云ッタラ條約改正ヲ實行スルノガ重イカ此ノ如キ法律ヲ疑ナシニ倫理道德ナドニ關スルコドヲ構ハズニ之ヲ實行スルコトガ重イコトデアアルカ、其輕重ニ付テハ隨分考物デアナイカト云フ位ノモノデアアル、況ヤ經濟上ナドニ付テハ勿論ノコトデアラウト思フ、金ノコトハ國ノ倫理道德ナドニ關スルモノデナク一國ノ精神上ニ關係ヲ持ッコトハ勘定ヅクデハ參ラヌコト、思フ、ソレデ輕重ト云フコトニ付テモ大ニ考ヘナケレバナラヌ、ソレ故ニ今日ハ兎ニ角是ハ一旦廢案ヲシテサウシテ更ニ相當ナ期限ヲ以テ相當ナ方法ヲ以テ調査ヲスル方ガ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居リマシタガ唯今加藤君カラ繼續委員ニ附セラレサウシテ十二月マデ延シテ調査スルト云フ見込デ繼續委員ニ附スト云フ御說ガ出マシタ上デ尙ホ再考ヲ致シマシタ所ガ矢張加藤君ノ御說ノ方ガ宜イヤウニ思ヒマス、如何ニモ之ヲ非トシテ廢スルノデハナク此中ニハ隨分私ナドモ宜イト云フ規定モ澤山アルト思ッテ居リマスカラ決シテ廢スルト云フノデハナイ、唯延期ノ爲ニ廢サウト云フノデアアルカラ私ハ前說ヲ棄テテ加藤君ノ御說ニ賛成シテ繼續委員ニ付シタイト思フ

ノデゴザイマス、其結果ガドウナルカト云フト今朝總理大臣ニ段々御説明ヲ願ツタガ條約改正ノ關係ニ付テハモウ少し先キマデ伺ヒタカッタノデゴザイマス、私ノ推測スル所ニ依リマスレバ委員ニ付託シテ修正スルコトニナツテモ、決シテ條約ノ實行ヲ奏セヌト云フコトデアルガ條約改正ノ談判ト云フコトニ付テ今朝總理大臣ノ御話ニ依レバ段々長イ沿革デ非常ニ錯雜シタ事情ヲ以テ今日マデ進行サレタコトデアルカラ此事ニ付テハ雙方共ニ色々深ク入込シタ事情ガアル、之ヲ實行スルニシテモ延バスニシテモ色々ナコトガアラウト思フ、ソレデ總理大臣ガ今朝申サレタ如ク今ノ政府トシテ行掛リ上今更談判ヲ講ズルコトハ出來ヌト申サレタガ私ノ愚案ニ依レバ此議院デ民法ヲ悉クデハナイ民法ノ或部分ハ實行サレテ居ルノデアル、所謂條約ノ載セラレテアル所ノ法典ノ中ノ民法ト云フモノハ幾分分出テ居ル其中ノ親族篇ニ關スルダケノコトデアリマスカラシテ政府ガ愈々實行スル積リデアッタケレドモ何分國ノ風俗習慣ナドニ關スルコトデアッタ一般ノ國論ニ異動ガアリ議院ニ協賛ヲ經ル爲ニ出シタラ議院デモ異論ガアッタ、兎ニ角事實上實行スルコトガ出來ヌコトニナツタカラ餘義ナク民法中ノ親族篇ハ最前ノ國ニ深イ關係モナイカラドウカ此篇ダケハ取除イテ條約ヲ實行シタイト云フコトヲ端ヲ改メテ談判ヲシタナラバ外國デモ按ズルヨリ產ムガ易イト云フコトデ條約ノ實行モ進シデ參ルコトト考ヘル、併ナガラソレハ到底出來ヌト云フコトデアレバ餘義ナイコトデアリマスカラ六ヶ月間ハ先刻御説ノアッタ通り延シタ所ガ條約其者ニハ決シテ傷ハ付カナイ、能ク其輕重ヲ考ヘテ延バスト云フコトニ致シタイ、ソレニ付キマシテ先刻穂積君カラ嚴シイ御説ガ出テ六月三十一日ニナレバ法律ノ期限ガ切レルカラ六月カラ先キハ前ノ古イ民法ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトデアッタ嚴シイ御説デアアルノデアリマス、併ナガラ是ハ六月三十日以前ニ又更ニ法律ヲ出セバ宜イソレデ貴族院ニ於テ此修正案ヲ再ビ貴族院ノ議ニ附スルト云フコトニ決シテ政府ガ同意ヲサレタナラバ更ニ之ヲ以テ衆議院ニ交渉ヲ致シ衆議院ノ同意ヲ得テ延期ノ法律ヲ出スト云フコトハ格別ムヅカシイコトデアリマス衆議院ト雖モ古イ前ノ民法ヲ七月カラ實行シテ宜シイト云フ考ハ必ズアルマイト思ヒマス、其邊ハ本議院ノ決心次第政府ノ決心次第デイケルコトト思フ本院デイケテモ衆議院デイケナイダラウト云フヤフナ考デ居ッテハ何事モ本員ハ出來ヌコトト思フ、其邊ハ國ノ爲メト考ヘタラ進シテ自分ノ信ズルコトヲ行ッテ行クヨリ外ニ仕樣ガナイト思フ、ソレ故ニ加藤君ノ御説ニ贊成致シマス

○村田保君 加藤君其他ノ御方ノ御議論デアリマスレバ民法ト云フモノハ到底完全ニ實行ヲ期スルコトハ出來ヌト私ハ信ズル、ナゼト申シマスルニ今日マデ既ニ二十三年ニ出テ居リマスル民法ト云フモノハ惡イト云フノデ今日マデ掛ッテ修正シテ出シタモノデアアル、是ハ誠ニ惡イ分ラヌト云フノデ之ヲバ六ヶ月モ掛ラネバ皆ナ自分達ニ能ク分ルヤウニナラヌト云フコトデヨシヤ皆様ノ御説ニ從ヒマシタ所ガソレデ冬マデ掛ッテ之ヲ修正致シテ出シマシ

タ所ガドウデセウ又其説ガ出ララウト思フ、又六箇月置イテ繼續委員ヲ置イテ調ベナケレバ分ラヌト云フコトニナル、又ソレヲ出シタラ又其通り順繰ニイツマデモイカナイ、サウシタラ遂ニ此民法ノ成ルト云フコトハムヅカシカラウト思フ、サウシテ既ニ先程モ申シマシタ通り此前ナドニモアレダケノ浩翰ノモノガ出マスト云フト即チあんぶろくデ通ツタ、全部ニ就テ通ツタカラ出來マシタ若シアレガ唯今ノ御議論デアッタナラバ今日マデモ出來ル氣支ハナイト存ジマス、是ハ先例モアルモノデゴザイマスカラ先例ニ依ッテ御決メニナラヌデハイツマデヤッタ所デ成效ヲ致スコトハ出來マセヌ、又久保田君ノヤウニ譯ガ分ラヌト云フコトデアレバ三百議員殘ラズ分ラヌト云フトデアレバ出來マセヌカラ到底望ムベカラザルコトデアラウト思フ

○名村泰藏君 私ハ加藤君ノ繼續委員説ニ同意ヲ致ス者デアリマスガ元來唯今村田君、之ヲ一括ニシテ是デ此前ノ民法修正案ハ濟ンダハナイカ、成程其時ハ私モ委員デアッタ委員會デ其通りニシテ濟ンダニ相違ナイ、所ガアノ法律ハ人事編相續編ノ如ク各己ノ人ノ頭ニ掛ッテ非常ナル感シヲ起ス程ノモノデナイ、萬國何レノ國デモアノ通りノ法律ハアル、決シテ其通りノ議決ヲ採ツタカラトテ差支ハナイト思ヒマスカラソレデ私共同意ヲ表シタ譯デアアル、所ガ此人事編ニ於テハ實ニ大切ナル法律デアッタ既ニ司法省デ山田前司法大臣ガ總裁デアラレタ時ニモ人事編ノ如キモノハ歐米各國ノ人情風俗ニ餘程違ッテ居ルコトデアアルカラ人事編ノ如キモノハ容易ニ作ルベキモノデナイ、是ハ法典ノ中ニ組込ムベキモノデナイカラ篤ト御熟考ノ上ニ御作リニナルヤウニ致シタイト云フコトヲ申上ゲタコトデアリマス、所ガ其時分ニハモウ破竹ノ勢ヒデ法律ヲ作ルト云フニ盛ナル時デアリマスカラ中々私共ノ説ハ更ニ容レラレナイデ到頭此人事編ト云フモノガ出來マシタ、成程先ニ出來タ所ノモノハ之ニ較ベテ見タラ非常ニ日本ノ爲ニ不得策ノモノデアッタラウト思ヒマス、ソレト較ベテ見タラ餘程良イモノニナツテ居リマスガ既ニ先程會我君ノ言ハレタ通り私ナドモ天保年度ノ者デ儒教デ育ツタ者デアアルニ依ッテ此法律ニ就テハ容易ナラヌ所ガアラウカト存ジマス、或ハ平地ニ風波ヲ起シ或ハ一家ガ無事デ濟ンデ行クノニ大イニ訴訟沙汰ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、今日マデ日本ノ風俗ニハ大イニ反スル所ガアラウト思ヒマス、成程加藤君ノ言ハレルヤウニ此中ニハ習慣ニアル所モアリ、ソレヨリモ良イ箇條モアル、成程私ガ之ヲ通讀シテモアルヤウニハ思ヒマスケレドモ一週間カ二週間デ之ヲ見タ所デ屹度良イトモ判斷スルコトハ出來ズ、惡イトモ判斷スルコトハ私ノ腦髓ニハ甚ダ苦シイ、付テハ加藤君ノ半年間ニ於テ之ヲ修正スルト云フコトハ至極私ハ結構ナコトト思ヒマス、成程是ガ爲ニ半年條約改正ガ遅レルト云フコトニ至ッテハ私モ如何ニモ残念トハ思ヒマスルガ又此法律ガ實施サレテ日本人民ノ馴レザル所ニ餘程ノ影響ヲ及ボスコトガアラウカト考ヘマシテ、兩方比較シテ見ルト半年遅レデモ之ヲ修正シテ良イモノニシタナラバ日本ノ人民ノ爲ニハ餘程ノ幸福ダラウト思ヒマスカラドウカ

サウ云フ都合ニナリタイ、尤モ私ハ絶對的此人事相續ト云フモノハ不文律ニシテ置カウト云フノガ熱心私ノ極ク以前ヨリサウ希望シテ居リマシタコトデアリマス。カラ先程申ス通り、前ノ司法大臣ニモ決シテ人事編相續編ハ成文律ニナサラヌ方ガ日本人ノ爲ニハ最モ宜カラウト云フコトヲ再三申上ゲタコトガアリマス。ガ誠ニ殘念ナガラ容レラレマセヌデ今ニ殘念ニ思ッテ居リマス、ドウカ加藤君ノ繼續委員說ニ御贊同ナサルヤウニ……

○三浦安君 先刻久保田君カラ吾々ハ法典調査會員云々ト云フ御説ガゴザイマシタガ御覽ナサレタカ知リマセヌガ吾々ガ知ッテ居リサヘスレバ今カラ早クスルト云フコトハ決シテナイ、是ハ全ク條約改正ノ期限ニ掛ッテ今日マデ段々運ビ來ッタノデアリマス。カラ今之ヲ衆議院デ議決シテ來タモノヲコチラデ繼續委員ヲ置クト云フコトニナリマシテ此次ノ議會ニツレガ出マスルト又衆議院デ其通リウント可決スルモノデモアリマス。マイ、折角衆議院デ今日即決シテ來タノモ條約改正ノ大事ニ關ハッテノコトト推量サレマス、貴族院ニ於テ之ヲ延ベテモ宜シイト云フコトデアルト又衆議院ニ於テモ繼續委員……實ニ半年延ビルト云フコトハ受合ヘナイ、一年延ビルカ、三年延ビルカ分ラナイ、實ニ外國ヘ信ヲ失フテ仕舞フト云フ結果ヲ生ジハシナイカ、外交ノコトハ如何セン色々推量ヲ致シマシタ所ガ當局者ニ一任スルヨリ外ハゴザイマセヌノデ、是ハ斯ク斯クノ次第半年延ビルト云フタ所ガウント言ヒマセウカ、サウ云フ都合ナラコッチニモ斯ウ云フ都合ガアルト言出シマシタナラバ又向フデドンナ説ガ出ルカモ知レナイ、折角茲マデニ成ッテ居タモノヲ一度變ジマス。ト初メカラ甘シテ決行シタト云フタ譯デナイ、色々應接ノ末成ッタモノデゴザイマス。カラ一度コチラデ期限ヲ狂ハシタナラバ又ドンナコトガ出來ルカ知レヌ、是ハ受合ガ出來ヌ、サウシマス。ト唯急速ニ議スルハ安ンゼヌト云フ一點ノ御精神ハ感シ入リマス。ルガ國家ノ機關タル外交上ニ於テドンナ影響ヲ來タスカ、遂ニ年來希望シテ居リマス所ノ治外法權ヲ恢復シテ一國ノ經濟上ノミナラズ人民ノ權利上、我國ノ權利上ニ於テ恐ロシイ結果ヲ來タシハシナイカ、ドウモ外交ノコトハ推量ツクデ彼等言フコトハ出來ヌ、私ノ言フコトモ推量ナラバ久保田君ノ仰ッシャルノモ推量デ、推量言フノハ恐ロシイコトデ、一度コッチガ期限ヲ狂ハシタナラバ又向フデドンナコトヲ言フカ、二三國ガ勝手ヲ言ヘバツレデ狂ヒマス、是ハ今日ニ於テハ吾國ガ各國ト對立スル大機關ニ關係スルノデアリマス。カラ忍ンデ御勉強ノ上早ク可決ナラムコトヲ希望スルノデ繼續委員ト云フコトニナレバ衆議院モ亦繼續委員ト云フコトニナルノハ鏡ニ懸ケテ見ヘテ居リマス、サウ云フコトハ中々際限ノナイコトト思ヒマス。カラドウゾ今日ハ御可決ニナラムコトヲ希望シマス。○小幡篤次郎君 私モ繼續委員ヲ設ケルト云フコトニハ贊成ヲ致シマセヌ、ドウモ此條文ガ能ク分ツタカト、云フト全ク分リマセヌ。其中ニハ隨分考ニ落チヌコトモアリ質問ヲ致シタイコトモゴザイマス、又考ヘモ致シテ見タイコトモゴザイマス。ガ全體ニ付キマシテハ法典委員ノ是マデノ御勉強ト綿密ニ調

査ノ出來マシタノヲ信用シテ贊成ヲ表スルヨリ外仕方ガナイト存ジマス。ルノテ殊ニ條約改正ノ時期ヲ失スルト臍ヲ噬ムノ悔ヲ生シヤウト存ジマス。ルノ繼續委員ニハ贊成ガ出來マセヌ出來ル丈ケノ調査ヲ致シマシテ此議會ニ是非經過ヲ致シタイト思ヒマス。

○男爵尾崎三良君 段々諸君カラ御説ガ出マシタガ之ヲ繼續委員ニ附シテ延ハスト云フコトハ誠ニ殘念デナラヌ、是マデ對等ノ條約ガ出來タト云フモノハ色々ノ事實ガアリマシテ竝ミ竝ミナラヌコトデアアル、實ニ法典マデモ其中ノ一要件トシテ出來タコトデアアル。詰リ外交上ノ治外法權ヲ撤去セネバナラヌ、是非ヤラニヤアナラヌト云フノデ外交上彼ニ向ッテ我人民ハイツマデモ此ノ如ク權利ヲ殺ガレテ安ジテ居ル譯デハナイト云フコトハ十分ニ論セラレタニ違ヒナイ其曉、彼モ其理論ニ服シテ條約ト云フモノガ愈々實施ト云フコトニナッテツレカラ愈々實施ノ期限ガ迫ッテ來タト云フ一段ニナッテ來テコチラノ準備ガ出來ヌカラマダ出來ヌト云フコトハ難義ノ話デアッテオ前ハツンナコトヲ言フテモツレハオ前ノ國論ヲ代表シテ來タノデハナイダラウト云フコトヲ言ハレテモ面目ハナカラウト思ヒマス、甚ダ殘念デタマラヌ、若シサウ云フ場合ニナッタルバ向フハ之ヲ行フニ熱心デナイモノダカラサウ云フマダ日本ノ人民ガ此條約ニ付テ格別望ンデ居ラヌヤウニ見ヘル、スレハ我々ハ日本ノ人民カ今日段々進シテ最早以前ノ有様デナイカラ此條約ニハドウシテモ人民ガ服セヌト云フテ改正條約ヲサセヌトニ一向サウデハナイデハナイカ、一向冷淡ノヤウニ見ヘル、ツレデハコチラハサウ急グ譯デハナイト云ウテ彼カラ言ヒ草ヲ附ケテ之ヲ延バサウトカ何トカ云フコトデアアルナラバ隨分口實ガ設ケラルデアラウト思フ、又隨分一種ノ外國人デ橫濱ナドニ永ク居ル居留民ナドハ此條約ガ實施ニナルト自分ノ專賣特許所謂ものぼリヲ奪ハルル爲ニ此事ニ反對スルヤツガアル、然ル所今日ハ此ノ如ク公平ナ議論ニ打勝ツコトガ出來ズ斯クマデ進ンデ來タノニ此處デ日本國自ラノ働キデ之ヲ蹉跌シテ進行ガ出來ナイト云フコトニナッテハ彼等ハ亦必ズ故障ヲ入レルニ違ヒナイト思フ、若シツレ等ノ爲ニ折角數十年當局者ノミナラズ上下人民共ニ此治外法權ト云フモノヲ撤セザル以上ハ到底相當ノ交リガ出來ナイ、之ヲ熱心ニ切望シタモノガ漸ク出來テ愈々實際ニ行ハレルト云フ曉ニ至ッテ我内輪ノ事情ニ依ッテ出來ナイト云フコトニナルノハ我々ハ甚ダ心外デタマラヌ、ドウゾ若シ之ガドウシテモ十分會得スルコトガ出來ヌニ依ッテ會得シタイト云フ御精神ナラバ我々ハ晝夜ヲ掛ケテモ出張シマシテ亦委員モ出テ御勉強ニナッタルバ十分ナ字句ノ修正ト云フコトハ出來マス。マイガ御分リニナッテ成程ト云フ位マデノ所ニ行キサウナモノト思フ、免ニ角延バシテ繼續スルト云フ様ナコトハドウゾナイヤウニ、若シサウナルト今御説ノアツタヤウニ衆議院ニ出ス衆議院デモ繼續委員ト云フモノハ非常ニ皆望ンデ居ル故ニ貴族院デ繼續委員ヲ置ケバコッチデモヤラウト云フコトガ必ズ起ルニ違ヒナイ、甚タ是ハ殘念デアリマス。カラトウゾ茲ハ一ツ大小輕重ヲ比較シテ是ハ進ンデ是非此會期

ニ濟マスヤウニシタイト云フコトヲ希望シマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 諸君ノ御論モ盡キタヤウデゴザイマスカラ私ノ一個ノ意見ヲ極ク簡單ニ述ベテ置キマス、此法典ノ調査ノ事ニ付テハ多年政府ニ於テハ社會ニ於テ、最も有名ナ學者又ハ其他ノ專門家、ソレカラ實業家等ヲ集メテサウシテ多年能ク研究ニナツタ次第デアリマスカラ最早此貴族院ニ於テハ此大體ヲチョット勘考スレハ細目ニ涉ルコトハ十分攻究ノ積シテ居ル事柄デアラウト思ヒマス、是マデモ段々上下兩院ヲ通過シタル法典ノ案モ多數ノ議員ノ意向ハソコニ在ッタモノト見ヘマレテ著々可決セラレテ居ル、唯此度ノ法典人事ニ關スルコトデアリマシテ社會ノ風紀上ニモ餘程影響ヲ及ボスコトガ多イデアリマスカラ深ク憂慮セラル、諸君ノアルノハ至極御尤ト存ジマス、併ナカラ能ク考ヘテ見マスルノ二段々御話ノアリマスルヤウニ條約改正ノ期モ迫ッテ居ル、ソレカラソレニ引續イテ經濟上ノ利害得失ト云フモノモアル、此條約ノコトモ數十年來政府ニ於テ始終苦心シテ今日マデ漸ク抄ツタ譯デアアル、若シ此際各國トノ條約ガ完結致サヌト云フコトモナル又此處デ頓挫ヲ來シマス此先キイッ總マルト云フ見込ガ今日附カナイ、相手モ澤山アリマスシ外交ニ亘ルコトハ隨分變動ノ甚シイモノデアリマス、此際繼續委員ヲ設ケテ十二月マデモ延バスト云フコトニナリマシタナラバ必ズ外國ニ於テハコナラノ違約致シタコトヲ質ニ取ツテ種々ナ條件ヲ提出シテ來ルヤウナコトニナルカモ知レヌ、ドウモ其方ノ心配ノ方が多イヤウニ思フノデス、若シ一旦此改正條約ノコトガ成立チマセヌトイッマデモ我國ガ歐洲列國ト對等ノ位置ヲ保ツコトガ出來ナイヤウニナルカモ知レヌ、其大小輕重ヲ考ヘテ又此法典ノ利害得失ノコトヲ考ヘ合セテ見マスルト法典ノ方デアツテ見レバ先刻モ申ス通り段々調査モ行届イテ居ルコトデアリマス、一旦發布ニナリ掛ツタモノヲ延期セラレテ再三調査サレタ譯デアリマスカラ先ツ瑕瑾ハ大體ナイモノト私共ハ信ジテ居リマス、如何ナル法律ト雖モ金科玉條ノモノデモ今日ノ時世ニ適合シテ居ッテモ將來又社會ノ變遷時運ノ進歩ニ連レテハ如何様ニ改正ヲ要スルコトガナイトモ言ヘヌ、ソレデ此法典ト雖モ將來ニ於テモ又改正ヲ要スルヤウナ必要カハアルカモ知レナイ、其際ニハ上下兩院ニ於テ其邊ノ事ヲ決シテモ少シモ差支ハナカラウト思フ、一旦其緒ニ就イタ條約改正事業ヲ此際爲シ遂ゲテ仕舞フト云フコトハ最も重要ノコトカト考ヘマス、取返シノ付カナイモノデアリマスカラドウシテモ此際ハ此法典ノ斷行ニナルヤウニ希望致シマス

○加藤弘之君 私ハ段々御説ヲ承ッテ一應御話シテ置カヌト大變誤解ヲ招クト思フ、私ハ先刻申上ゲタ通り此案ハ大變危イ案ダト思ッテハ居ナイ、隨分見タ所デ此前ノヨリハ餘程宜ク出來テ居ルト思ヒマス、ソレカラ今マデ聞イタ所デハ別ニ或ハ削除セバナラヌトトカ改正シナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘタ所モナイ、唯其誠ニ旦夕ノコトデアルカラドウモドウシテモ分ラヌカラ或ハ長ク調査シテ見タラモウマルデ此通りデ宜シウゴザイマス云

フヤウナコトモ固ヨリアラウト云フヤウナコトデアラウ、是ハ必ズ危イト云フ考ハ私ハ必ズナイ、私ハ隨分保守黨カラハ餘リ西洋癖ダト言ハレル位ノ人間デアアルデスカラ之ヲ酷ク昔ノ日本風ニ直シテ行キタイト云フ考デハナイ、ケレドモ民法ノ外ノ部分トハ餘程ハ輕重ガ違フ、ソレカラ先達テ議決ニナツタ商法ナドトモ餘程輕重ガ違フ、民法ノ此他ノ部分ト云フモノハ隨分段々是カラ改正シテ行ッテモ差支ナイコトモ澤山アルデアラウシ商法ナドニ至ッテモ固ヨリ、其他ノ法典モ是カラ比シタラ餘程輕イモノデアアル、今ノ委員長ノ御話ニ法律ト云フモノハ時世ニ依ッテ變ヘナクテハナラヌカラ是モアトデ變ヘルコトモ都合ハナカラウ、ソレハモウ其通りデ萬世不易ト云フコトハナイ、變ヘルコトハ宜シイケレドモ併シハ家族ノ一體ノ關係カラ總テノ親戚間ノ關係ト云フモノヲ規則立テルモノデアアルカラ此大趣意ト云フモノヲサウ變ヘルト云フコトハ出來ナイ、是ハモウ是マデノ主義ヲ一ツ茲デ一變シテ、一變ト云フノハ昔ノ習慣風俗ニモ餘リ悖ラス、サウシテ今ノ開化ニモ餘リ反セズ丁度宜シキヲ得テ行ク所ニ定メテ行クノデアリマスルケレドモ併シハ茲デ一變スルヤウナ場合デアアルモノデアアルカラ是モ先ヅ十年ヤ二十年ニ此大主意ヲ變ヘルト云フコトハ出來ナイ、サウ云フヤウナコトハ民法ノ他ノ部分或ハ商法其外ノ法律ニハサウナイコトデアアル、ソレデアアルカラ此輕重ヲ比較スルノニ僅カナコトヲ以テ來タ譯デアリカナイ、モウ固ヨリ金ノ五百萬圓ヤ千萬圓、半年ダケ損ヲスルト云フヤウナコトノ比較ニナルコトハ出來ナイ、幾ラ金ノ上デ損ヲシテモソレハ仕方ガナイ、唯外國人ノドウモ日本ニ不審ヲ置クヤウニナルデアラウ、又向フガソレニ付テ勝手ナコトヲ言ッテ仕樣ガナイト云フコトハ隨分心配デアアル、心配デアアルケレドモ是ハ其長イコトデモ何デモナイ、是ガ若シ昨年十二月ノ議會ガ解散ニナラナカッタラバ……或ハ先ノ議會デアツタナラバ大分日數ガアツタコトデアアルカラ其委員デアツタナラバモウ少シ綿密ノ調査ガ出來タデアリマセウ、ソレナラバ今度ノ委員ノヤウニ匆卒ナコトヲセヌデモ隨分綿密ニ出來タデアリマセウケレドモ、サウシタラ差支ナカッタデアラウ、ソレデ不幸ニシテソレガ出來ナクテ今日ニナツタノデアアルガサウ云フ事情ト云フモノハ西洋人ニモ分リキツタ話デッレダケノコトデ唯半年延ビテ行クト云フノデアアルカラソレデ向フガ勝手ナコトヲ……ドウ云フコトヲ言出スカ、斯ウ云フコトヲ言出スガト云フヤウニ考ヘレバ限リハナイケレドモ能ク考ヘレバソナニ理窟ノ分リ惡イコトデモ何デモナイ、サウシテ此ヤカマシイコトヲ言ッテ廢案ニシヤウト云フヤウナ日本ノ一體ノ人智デアリマセズ、極ク其頑固ノ保守黨ハ稀ニアルケレドモ其人ハ僅カナコトデアアル、之ヲ極ク昔ノ親族ノ關係ニ復サナケレバナラヌト云フ説モ出ルコトハ決シテナカラウト思フ、サウ云フコトデアアルカラ何モ酷イ不利益ノコトハナイト思フ、サウシテ之ヲ綿密ニ見タイト云フノハ即チ我輩ノ委員ノ義務ト云フモノガシツカリ立ッ、又見違ヘルコトハ誠ニナイカモ知レヌ、ナイナラナイデ安心スルト云フコトガ出來ルカラ即チ其義務

ト云フモノガ立ツ、村田君ノヤウニソレハ又此モ繼續委員、其次モ繼續委員ヲ置カナケレバナラヌト云フヤウナコトノ話デアルケレドモ其事ハ極端論デサウ一ツノモノニ議員ガ三度モ五度モアルモノデハナイ、サウ云フコトヲセヌデモ宜イ話デ、ソレバ唯極端ノ論デ實際ニアルベキコトデハナイ、サウ云フコトデアリマスルカラ唯其輕重ノ所デ比較シテ見ナケレバナラヌ、外ノ法律ナラズウ云フコトハ言ハヌ、民法ノ外ノ部分ハ既ニモウ極ツテ居ル、外ノ民法ナラ不都合ガアツテモ又變ヘルコトモ少シモ差支ハナイ、外ノ法律ナラ猶更、是ハマア人倫倫理、自ラ倫理道德ニ近ク縁ヲ持ツテ居ルカラドウモ其心配ヲシテ置カナケレバナラヌト云フコトハ逆モ外ノ法律ノ比デハナイ、ソレデスカラ其重イ所ヲ以テ外ノ已ムヲ得ヌト云フコト比較シテ見ルト輕重ガ餘程アルト思フ、色々ナコトヲ持ツテ來テ斯ウ云フコトガアルカラ此法律ノコトハ大抵ニシタガ宜カラウト云フ論ガ出ルト其比較ガ出ルト云フコトハ此法律ニ比シテ見ルト餘程輕イト云フコトニ諸君ノ御論ハ皆思ハレル、併シ諸君ノ御説ガサウデナケレバ仕様ガナイ、ソレダケノ……

○村田保君 ドウモ私モ加藤君ノ御説ヲ伺ヒマスト益々繼續委員ヲ置ク必要ハナイト思フ、ドウモ繼續委員ヲ置クト云フモノハ理由ガ立タナイ、ソレデ加藤君ノ言ハレルニハ成程之ヲ見レバ今マデ聽イテ居タ所ガ皆良イ慣習ニモ違ツテ居ナイ、尙ホ見レバ見ル程益々宜イト斯ウ云フ御説デス、抑々繼續委員ヲ置クト云フコトニナルノハ何レ慣習ニモ背イテ居ルドノ點ハ國法ニ違フテ居ル、ドノ點ハ惡イ斯ウ云フモノヲ出シテハ國ノ治安ガ保テナイ、之ヲ修正スルニハ其時ノ議會デ修正スルコトガ出來ナイト云フコトヲ以テ繼續委員ヲ設ケルト云フコトニナルコトハ分ツテ居ル見レバ見レバ程宜シ……

〔加藤弘之君「見レバ見ル程ト云フコトハ言ハナイ一見シタ所デハト言ツタ」ト述ブ〕

聽イテ見ル程尙ホ是カラ先キモ見タ宜イト云フ御説デ、惡イト云フ點ヲ少シモ指サレタコトハナイ、斯ウ云フ點ガ今日ノ慣習ニ背イテ居ルトカ秩序ガ保テヌトカ或ハ倫理ヲ壞亂スルモノデアルト云フコトヲ仰シヤッタコトハナイ、其廉ガナクシテ一體繼續委員ヲ設ケルトガ出來ルモノカ、出來ナイモノカ、繼續委員ト云フモノハ議場ノ多數ヲ得テ又政府ノ同意ヲ得ナケレバ仕様ガナイ、政府ガ同意シナイト云フコトニナルト無茶苦茶ニナツテ來ル、サウ云フコトニナツタ却ツテ容易ナラヌ關係ヲ持チハシマイカト思フ、一體加藤君ニ御同意ニナル御方ハ皆違ツテ居ル、ソレデ名村君ノハ御贊成サレタ所ガ全ク加藤君トハ違フ名村君ハ絶對的ニ之ヲ成文法ニシナイト云フ御説……

〔名村泰藏君「ソレハ希望デアルケレドモ出來ナイカラ加藤君ニ贊成シタ」ト述ブ〕

ソレデアルカラドウゾ今日日本國ノ國家ヲ思ヘバ私ハ其位ノコトハ言フ時デナカラウト思フ

○子爵曾我祐準君 ドウモ同シコトガ度々廻ッテ來マスカラ日モナイノニ駄目ナ話デアリマス、モウ御裁決ニナツテハ宜シイデゴザイマセヌカ
○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ決ヲ採リマス
○子爵松平乘承君 チョット伺ヒマス加藤君ノハ議院法ノ二十五條ニ依ッテ居ルノデゴザイマスカ、サウシテ期限ハ十二月マデデスカ
○加藤弘之君 サウデス
○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ十二月マデ繼續委員ヲ置クト云フ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○國務大臣(曾禰荒助君) チョット伺ッテ置キマスガ繼續委員ヲ置クト云フコトヲ委員カラ議場ニ御報告ニナツタダケデ濟ムノデアリマスカ、アトハドウナリマス
○子爵曾我祐準君 私ハ別ニ説ハアリマセヌガ法律ノ指示ス所デハ議場デ繼續委員ヲ置クコトヲ容レマセネバソレガ成立チマセヌ
○國務大臣(曾禰荒助君) 私ハ幸此處ニ出テ居リマスカ一言申上ゲテ置キマスガ議場デ政府並ニ政府委員ニ相談ヲシタト云フコトハ仰シヤラレヌ御積リデゴザイマセウ

○子爵曾我祐準君 御相談致シマセヌカラ致シマシタト云フコトハ出來マセヌ
○國務大臣(曾禰荒助君) サウ云フコトデゴザイマスカ私ハ反對ヲ表シテ置キマス、繼續委員ヲ置クコトニ反對ヲ申シテ置キマス
〔曾我祐準君「御反對ナサルニ付テ御述べニナルノハ御勝手デス」ト述ブ〕

○三浦安君 然ラバ私ハ少數意見ヲ提出シマス
○政府委員(穗積陳重君) 民法ガ若シ繼續委員ニ附セラレマスレバ非訟事件、戶籍法ソレ等ハ皆同シコトニ相成リマス、ソレダケ先キニ兩院ヲ通過致シテモ……

○男爵吉川重吉君 此場合ニ伺フコトデナイカモ知レマセヌガ若シ繼續委員説ガ成立チマセヌデ繼續委員ヲ置カヌト云フコトニナリマスト民法ヲ又議場ナリ委員ナリデ議スルト云フコトニナリマセウカ、ソレハドウ云フ手續ニナリマスカ、御説ヲ伺ッテ置キタイト思イマス
○委員長(侯爵黑田長成君) 民法ノ外ニ付託セラレテ居ル法案ハ矢張繼續委員ニ付スルト云フコトニナリマスカ
○三浦安君 私共ハサウ云フコトハアルマイト思フ、民法ノミデアリマスカラアトハ消エヌト思ヒマス、議シモセズニ直ニ繼續委員ト云フコトニナツテハナラナイト思ヒマス、……委員長、是ハ御手数數デスガ明日ノ一番始メニ御報告ニナリマスヤウニ願ヒマス

○委員長(侯爵黑田長成君) サウスルト民法ダケヲ報告致シマス、ソレデハ是デ……

午後四時十五分

明治三十一年六月九日印刷

明治三十一年六月十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局